

	全体		病院		有床診療所	
Q18 3) 精神面への支援の有無						
	度数	%	度数	%	度数	%
計	669	100.0	650	100.0	19	100.0
有	350	52.3	342	52.6	8	42.1
無	258	38.6	250	38.5	8	42.1
無回答	61	9.1	58	8.9	3	15.8
Q18 4) その他						
	度数	%	度数	%	度数	%
計	669	100.0	650	100.0	19	100.0
有	18	2.7	18	2.8	-	-
無	150	22.4	145	22.3	5	26.3
無回答	501	74.9	487	74.9	14	73.7
Q19 1) 新人看護職員研修について1) 課題・困難と感じていること						
	度数	%	【複数回答】 度数	%	度数	%
計	669	100.0	650	100.0	19	100.0
研修時間の確保ができない	173	25.9	168	25.8	5	26.3
新人看護職員の指導方法がわからない	175	26.2	171	26.3	4	21.1
新人看護職員の心のケアが必要である	317	47.4	311	47.8	6	31.6
新人看護職員の負担・疲労を考慮することが難し	257	38.4	250	38.5	7	36.8
部署で求められる能力と看護基礎教育終了時点で	329	49.2	322	49.5	7	36.8
新人看護職員との人間関係が難しい	113	16.9	111	17.1	2	10.5
自分よりも年齢の上の新人看護職員を教えるのが	114	17.0	110	16.9	4	21.1
実地指導者の役割を担うことが負担である。	192	28.7	190	29.2	2	10.5
実地指導者の役割を果たすのに時間外になってし	316	47.2	315	48.5	1	5.3
他のスタッフからのサポートがない	72	10.8	69	10.6	3	15.8
実地指導者の人材が不足している	178	26.6	175	26.9	3	15.8
人員に余裕がない	345	51.6	336	51.7	9	47.4
その他	38	5.7	37	5.7	1	5.3
無回答	14	2.1	13	2.0	1	5.3
Q21 該当する施設種別をお答えください。						
	度数	%	度数	%	度数	%
計	669	100.0	650	100.0	19	100.0
病院	650	97.2	650	100.0	-	-
有床診療所	19	2.8	-	-	19	100.0
無回答	-	-	-	-	-	-
Q22 設置主体について						
	度数	%	度数	%	度数	%
計	669	100.0	650	100.0	19	100.0
国・国立病院機構など	48	7.2	48	7.4	-	-
県・市町村・広域事務組合など	101	15.1	100	15.4	1	5.3
公的病院	68	10.2	68	10.5	-	-
社会保険関係団体	13	1.9	13	2.0	-	-
医療法人	318	47.5	301	46.3	17	89.5
社会福祉法人	25	3.7	25	3.8	-	-
その他の法人	50	7.5	50	7.7	-	-
その他	30	4.5	29	4.5	1	5.3
無回答	16	2.4	16	2.5	-	-

	全体		病院		有床診療所	
Q 1 ガイドラインを知っていますか。						
	度数	%	度数	%	度数	%
計	622	100.0	602	100.0	20	100.0
はい	344	55.3	330	54.8	14	70.0
いいえ	276	44.4	270	44.9	6	30.0
無回答	2	0.3	2	0.3	-	-
Q 2 ガイドラインを読んだことはありますか。						
	度数	%	度数	%	度数	%
計	622	100.0	602	100.0	20	100.0
はい	169	27.2	160	26.6	9	45.0
いいえ	450	72.3	439	72.9	11	55.0
無回答	3	0.5	3	0.5	-	-
Q 3 ガイドラインに示された、「研修責任者」「教育担当者」「実地指導者」の言葉を聞いたことはありますか。						
	度数	%	度数	%	度数	%
計	622	100.0	602	100.0	20	100.0
はい	338	54.3	325	54.0	13	65.0
いいえ	280	45.0	273	45.3	7	35.0
無回答	4	0.6	4	0.7	-	-
Q 4 ガイドラインに示された、「研修責任者」「教育担当者」「実地指導者」の役割を知っていますか。						
	度数	%	度数	%	度数	%
計	622	100.0	602	100.0	20	100.0
はい	161	25.9	151	25.1	10	50.0
いいえ	455	73.2	445	73.9	10	50.0
無回答	6	1.0	6	1.0	-	-
Q 5 あなたの所属する部署の診療科について、最もよく表わしているのは下記のどれですか。						
	度数	%	度数	%	度数	%
計	622	100.0	602	100.0	20	100.0
一般内科・外科	345	55.5	342	56.8	3	15.0
クリティカル・ケア (ICU、CCU など)	17	2.7	17	2.8	-	-
救急部門	8	1.3	8	1.3	-	-
小児科	15	2.4	15	2.5	-	-
周産期	35	5.6	27	4.5	8	40.0
精神、神経科	55	8.8	55	9.1	-	-
療養型	45	7.2	43	7.1	2	10.0
リハビリテーション	32	5.1	32	5.3	-	-
緩和ケア	2	0.3	2	0.3	-	-
その他	46	7.4	41	6.8	5	25.0
混合科	-	-	-	-	-	-
無回答	22	3.5	20	3.3	2	10.0
Q 6 あなたの受けた看護基礎教育機関 (看護師免許を取得するための教育機関)						
	度数	%	度数	%	度数	%
計	622	100.0	602	100.0	20	100.0
看護学校・養成所等	482	77.5	468	77.7	14	70.0
看護短期大学	15	2.4	15	2.5	-	-
看護系大学	107	17.2	104	17.3	3	15.0
その他	9	1.4	8	1.3	1	5.0
無回答	9	1.4	7	1.2	2	10.0
Q 7 あなたが持っている医療福祉系の資格 【複数回答】						
	度数	%	度数	%	度数	%
計	622	100.0	602	100.0	20	100.0
看護師	560	90.0	546	90.7	14	70.0
保健師	112	18.0	108	17.9	4	20.0
助産師	29	4.7	26	4.3	3	15.0
准看護師	108	17.4	103	17.1	5	25.0
その他	12	1.9	10	1.7	2	10.0
無回答	1	0.2	-	-	1	5.0
Q 8 あなたの勤務形態について、最もよく表しているのは下記のどれですか。						
	度数	%	度数	%	度数	%
計	622	100.0	602	100.0	20	100.0
交代制 (2交代、3交代など)	568	91.3	554	92.0	14	70.0
日勤のみ	50	8.0	45	7.5	5	25.0
夜勤のみ	1	0.2	1	0.2	-	-
無回答	3	0.5	2	0.3	1	5.0
Q 9 あなたの所属部署において、新人研修期間として設定されている期間はどのくらいですか。						
	度数	%	度数	%	度数	%
計	622	100.0	602	100.0	20	100.0
設定されている	522	83.9	511	84.9	11	55.0
設定されていない	74	11.9	68	11.3	6	30.0
無回答	26	4.2	23	3.8	3	15.0

	全体		病院		有床診療所	
Q10 所属している施設では、新人看護職員研修のプログラムがありますか。						
	度数	%	度数	%	度数	%
計	622	100.0	602	100.0	20	100.0
ある	557	89.5	546	90.7	11	55.0
ない	38	6.1	31	5.1	7	35.0
無回答	27	4.3	25	4.2	2	10.0
Q11 (1) 備品 (例：技術練習を行うためのシミュレーター、視聴覚教材、図書等) について						
	度数	%	度数	%	度数	%
計	622	100.0	602	100.0	20	100.0
十分に確保されている	324	52.1	319	53.0	5	25.0
不足している	101	16.2	92	15.3	9	45.0
準備されている	176	28.3	171	28.4	5	25.0
無回答	21	3.4	20	3.3	1	5.0
Q11 (2) 衛生材料等消耗品 (例：技術練習を行うとき等に使用する、使い捨ての物品) について						
	度数	%	度数	%	度数	%
計	622	100.0	602	100.0	20	100.0
十分に確保されている	385	61.9	376	62.5	9	45.0
不足している	40	6.4	38	6.3	2	10.0
準備されている	179	28.8	172	28.6	7	35.0
無回答	18	2.9	16	2.7	2	10.0
Q11 (3) 学習環境について a. 図書室 (院内)						
	度数	%	度数	%	度数	%
計	622	100.0	602	100.0	20	100.0
十分	228	36.7	228	37.9	-	-
不足	195	31.4	192	31.9	3	15.0
ない	186	29.9	170	28.2	16	80.0
無回答	13	2.1	12	2.0	1	5.0
Q11 (3) 学習環境について b. 図書館 (施設周辺)						
	度数	%	度数	%	度数	%
計	622	100.0	602	100.0	20	100.0
十分	186	29.9	180	29.9	6	30.0
不足	201	32.3	193	32.1	8	40.0
ない	214	34.4	209	34.7	5	25.0
無回答	21	3.4	20	3.3	1	5.0
Q11 (3) 学習環境について c. インターネット環境						
	度数	%	度数	%	度数	%
計	622	100.0	602	100.0	20	100.0
十分	288	46.3	274	45.5	14	70.0
不足	210	33.8	206	34.2	4	20.0
ない	112	18.0	111	18.4	1	5.0
無回答	12	1.9	11	1.8	1	5.0
Q11 (3) 学習環境について d. 学習室：新人看護職員が自己学習等をするのできる部屋 (自習室など)						
	度数	%	度数	%	度数	%
計	622	100.0	602	100.0	20	100.0
十分	103	16.6	100	16.6	3	15.0
不足	132	21.2	131	21.8	1	5.0
ない	374	60.1	359	59.6	15	75.0
無回答	13	2.1	12	2.0	1	5.0
Q11 (3) 学習環境について e. 研修室：新人看護職員への研修等を実施することができる部屋 (シミュレーション室、講義室など)						
	度数	%	度数	%	度数	%
計	622	100.0	602	100.0	20	100.0
十分	365	58.7	362	60.1	3	15.0
不足	128	20.6	127	21.1	1	5.0
ない	115	18.5	101	16.8	14	70.0
無回答	14	2.3	12	2.0	2	10.0
Q12 あなたを直接指導する看護職員について、該当する番号に○印をつけてください						
	度数	%	度数	%	度数	%
計	622	100.0	602	100.0	20	100.0
指導する看護職員は固定して決まっている	295	47.4	290	48.2	5	25.0
その日の勤務者の中で指導者を決める	316	50.8	301	50.0	15	75.0
無回答	11	1.8	11	1.8	-	-
Q13 研修手帳 (研修ファイル) 等が準備されていますか。						
	度数	%	度数	%	度数	%
計	622	100.0	602	100.0	20	100.0
ある	553	88.9	541	89.9	12	60.0
ない	67	10.8	59	9.8	8	40.0
無回答	2	0.3	2	0.3	-	-

	全体		病院		有床診療所	
	度数	%	度数	%	度数	%
Q14 研修手帳（研修ファイル）等を活用していますか。						
計	622	100.0	602	100.0	20	100.0
活用している	288	46.3	280	46.5	8	40.0
一部活用している	246	39.5	242	40.2	4	20.0
活用していない	83	13.3	75	12.5	8	40.0
無回答	5	0.8	5	0.8	-	-

	全体		病院		有床診療所	
	度数	%	度数	%	度数	%
Q15 新人研修期間中に受けた研修方法や評価について 【複数回答】						
計	622	100.0	602	100.0	20	100.0
集合型講義研修	467	75.1	461	76.6	6	30.0
集合型技術研修	442	71.1	437	72.6	5	25.0
OJT（業務をしながらの指導）	417	67.0	401	66.6	16	80.0
新人業務マニュアルを用いた指導	320	51.4	311	51.7	9	45.0
チェックリストを利用した評価	539	86.7	527	87.5	12	60.0
ローテーション研修	186	29.9	181	30.1	5	25.0
シャドウイングを中心とした指導	136	21.9	135	22.4	1	5.0
その他	3	0.5	3	0.5	-	-
無回答	6	1.0	6	1.0	-	-

	全体		病院		有床診療所	
	度数	%	度数	%	度数	%
Q16 知識・技術等の到達目標に対する評価について 1) 評価時期						
計	622	100.0	602	100.0	20	100.0
定期的に行う	480	77.2	466	77.4	14	70.0
新しい技術を行った時から習熟に合わせて行う	69	11.1	67	11.1	2	10.0
特に決まっていない	61	9.8	57	9.5	4	20.0
無回答	12	1.9	12	2.0	-	-

	全体		病院		有床診療所	
	度数	%	度数	%	度数	%
Q16 知識・技術等の到達目標に対する評価について 1) 評価時期：頻度						
計	480	100.0	466	100.0	14	100.0
毎週	4	0.8	3	0.6	1	7.1
毎月	122	25.4	118	25.3	4	28.6
2か月に1度	22	4.6	22	4.7	-	-
3か月に1度	249	51.9	243	52.1	6	42.9
その他	33	6.9	31	6.7	2	14.3
無回答	50	10.4	49	10.5	1	7.1

	全体		病院		有床診療所	
	度数	%	度数	%	度数	%
Q16 知識・技術等の到達目標に対する評価について 2) 評価方法 【複数回答】						
計	622	100.0	602	100.0	20	100.0
指導者が評価する	166	26.7	161	26.7	5	25.0
自己評価したものを指導者が確認する	469	75.4	457	75.9	12	60.0
自分で確認するのみ	14	2.3	14	2.3	-	-
無回答	13	2.1	10	1.7	3	15.0

	全体		病院		有床診療所	
	度数	%	度数	%	度数	%
Q16 知識・技術等の到達目標に対する評価について 2) 評価方法：指導者とは 【複数回答】						
計	595	100.0	578	100.0	17	100.0
その日の指導者	62	10.4	61	10.6	1	5.9
決められた実地指導者	351	59.0	344	59.5	7	41.2
教育担当者	196	32.9	189	32.7	7	41.2
無回答	59	9.9	56	9.7	3	17.6

	全体		病院		有床診療所	
	度数	%	度数	%	度数	%
Q19 該当する施設種別をお答えください。						
計	622	100.0	602	100.0	20	100.0
病院	602	96.8	602	100.0	-	-
有床診療所	20	3.2	-	-	20	100.0
無回答	-	-	-	-	-	-

	全体		病院		有床診療所	
	度数	%	度数	%	度数	%
Q20 設置主体について						
計	622	100.0	602	100.0	20	100.0
国・国立病院機構など	55	8.8	55	9.1	-	-
県・市町村・広域事務組合など	109	17.5	109	18.1	-	-
公的病院	48	7.7	48	8.0	-	-
社会保険関係団体	15	2.4	15	2.5	-	-
医療法人	290	46.6	273	45.3	17	85.0
社会福祉法人	19	3.1	19	3.2	-	-
その他の法人	40	6.4	39	6.5	1	5.0
その他	19	3.1	18	3.0	1	5.0
無回答	27	4.3	26	4.3	1	5.0

【資料編 4】

質問紙結果

- －到達目標の妥当性
- －実施頻度と到達度
- －基礎教育での学習
- －妥当でない理由 自由記載

【資料編 4】

－到達目標の妥当性

	妥当性					妥当性			
	1 妥当 である	2 妥当 でない	3 わか らない	無 回答		1 妥当 である	2 妥当 でない	3 わか らない	無 回答
II 静脈内注射、点滴静脈内注射	72.8	19.0	3.2	4.9	★III 気道確保	78.9	10.5	0.0	10.5
II 膀胱内留置カテーテルの挿入と管理	74.4	18.5	1.8	5.3	★III 人工呼吸	78.9	10.5	0.0	10.5
★II 経管栄養法	76.2	16.9	2.6	4.2	★III 閉鎖式心臓マッサージ	78.9	10.5	0.0	10.5
II 輸液ポンプの準備と管理	76.2	15.0	3.2	5.6	★II 安楽な体位の保持	78.9	10.5	0.0	10.5
II 排便	79.2	14.5	1.2	5.1	II 電法等身体安楽促進ケア	73.7	10.5	5.3	10.5
★II 食事介助	81.5	13.2	1.1	4.2	★I 患者・家族が納得できる説明を行い、同意を得る	78.9	10.5	0.0	10.5
★II 抗生物質の用法と副作用の観察	81.3	12.3	1.9	4.4	★II 経管栄養法	73.7	5.3	10.5	10.5
II インシュリン製剤の種類・用法・副作用の観察	81.0	12.2	2.1	4.8	II 膀胱内留置カテーテルの挿入と管理	78.9	5.3	5.3	10.5
★II 体位変換	81.5	12.0	1.4	5.1	II 関節可動域訓練・廃用性症候群予防	73.7	5.3	10.5	10.5
★III 気道確保	81.1	10.9	2.6	5.3	IV 人工呼吸器の管理	63.2	5.3	21.1	10.5
IV 人工呼吸器の管理	77.6	10.8	7.1	4.6	II 中心静脈内注射の準備・介助・管理	73.7	5.3	10.5	10.5
★III 閉鎖式心臓マッサージ	81.5	10.1	3.2	5.3	II 輸液ポンプの準備と管理	78.9	5.3	5.3	10.5
★II 安楽な体位の保持	84.3	9.7	1.1	4.9	★III 気管挿管の準備と介助	84.2	5.3	0.0	10.5
★III 人工呼吸	82.5	9.2	3.0	5.3	II リラクゼーション	78.9	5.3	5.3	10.5
II 中心静脈内注射の準備・介助・管理	83.2	8.8	3.0	4.9	II 精神的安寧を保つための看護ケア	84.2	5.3	0.0	10.5
★III 気管挿管の準備と介助	81.7	8.8	4.6	4.9	★II 食事介助	78.9	5.3	5.3	10.5
II 入眠・睡眠への援助	82.5	8.6	3.7	5.1	I 浣腸	84.2	5.3	0.0	10.5
II 輸血の準備、輸血中と輸血後の観察	84.5	8.5	2.1	4.9	★II 体位変換	84.2	5.3	0.0	10.5
★II 褥瘡の予防	85.4	7.9	2.1	4.6	II 入眠・睡眠への援助	73.7	5.3	10.5	10.5
II 電法等身体安楽促進ケア	84.8	7.9	1.9	5.3	★I 吸引(気管内、口腔内、鼻腔内)	84.2	5.3	0.0	10.5
II 包帯法	82.2	7.8	5.1	4.9	I 洗浄・消毒・滅菌の適切な選択	84.2	5.3	0.0	10.5
★I 患者・家族が納得できる説明を行い、同意を得る	83.8	7.6	2.6	6.0	★I 患者のニーズを身体・心理・社会的側面から把握する	84.2	5.3	0.0	10.5
★II 転倒転落防止策の実施	88.0	6.3	0.9	4.8	★II 学習の成果を自らの看護実践に活用する	78.9	5.3	5.3	10.5
II 麻薬の主作用・副作用の観察	86.4	6.2	2.8	4.6	II 排便	84.2	0.0	5.3	10.5
I 心電図モニター・12誘導心電図の装着、管理	86.2	6.2	2.6	4.9	II 体位ドレナージ	78.9	0.0	5.3	15.8
II 食生活支援	83.4	6.0	4.6	6.0	II 包帯法	78.9	0.0	10.5	10.5
I 導尿	88.0	6.0	1.1	4.9	II 静脈内注射、点滴静脈内注射	89.5	0.0	0.0	10.5
I 皮下注射、筋肉内注射、皮肉注射	87.8	6.0	1.4	4.8	II 輸血の準備、輸血中と輸血後の観察	89.5	0.0	0.0	10.5
II リラクゼーション	85.0	5.5	4.4	5.1	II 麻薬の主作用・副作用の観察	89.5	0.0	0.0	10.5
II 関節可動域訓練・廃用性症候群予防	85.9	5.1	4.6	4.4	II 薬剤等の管理(毒薬・劇薬・麻薬、血液製剤を含む)	89.5	0.0	0.0	10.5
II 薬剤等の管理(毒薬・劇薬・麻薬、血液製剤を含む)	88.0	4.6	2.8	4.6	II 止血	89.5	0.0	0.0	10.5
I 動脈採血の準備と検体の取扱い	88.9	4.6	1.6	4.9	II 薬剤・放射線暴露防止策の実施	84.2	0.0	5.3	10.5
★II 看護記録の目的を理解し、看護記録を正確に作成する	89.4	4.4	0.5	5.6	★I 施設における医療安全管理体制について理解する	84.2	0.0	5.3	10.5
II 止血	86.8	4.2	3.7	5.3	★I 施設内の医療情報に関する規定を理解する	84.2	0.0	5.3	10.5
★I 患者のニーズを身体・心理・社会的側面から把握する	88.7	4.2	1.4	5.6	★II 定期的な防災訓練に参加し、災害発生時(地震・火災・水害・停電等)には決められた初期行動を円滑に実施する	89.5	0.0	0.0	10.5
II 精神的安寧を保つための看護ケア	86.8	4.1	3.5	5.6	★I 施設内の消火設備の定位置と避難ルートを把握し患者に説明する	89.5	0.0	0.0	10.5
I 洗髪	91.2	4.1	0.2	4.6	★I 温度、湿度、換気、採光、臭気、騒音、病室整備の療養生活環境調整	89.5	0.0	0.0	10.5
II 血液製剤を適切に請求・受領・保管する	88.2	4.1	2.1	5.6	★I ベッドメイキング	89.5	0.0	0.0	10.5
I 浣腸	91.4	3.9	0.2	4.6	II 食生活支援	73.7	0.0	15.8	10.5
I 入浴介助	90.5	3.9	1.1	4.6	★I 自然排尿・排便援助	84.2	0.0	5.3	10.5
★I 吸引(気管内、口腔内、鼻腔内)	91.0	3.9	0.7	4.4	I 導尿	84.2	0.0	5.3	10.5
★II 病院及び看護部の理念を理解し行動する	89.6	3.9	0.7	5.8	★I 歩行介助・移動の介助・移送	89.5	0.0	0.0	10.5
II 体位ドレナージ	89.6	3.5	2.3	4.6	II 体動、移動に注意が必要な患者への援助	84.2	0.0	5.3	10.5
I 身体計測	91.0	3.5	0.5	4.9	★I 清拭	89.5	0.0	0.0	10.5
★I 針刺し事故防止対策の実施と針刺し事故後の対応	91.2	3.4	0.7	4.8	I 洗髪	89.5	0.0	0.0	10.5
★II 病院及び看護部の組織と機能について理解する	90.1	3.4	0.7	5.8	★I 口腔ケア	84.2	0.0	5.3	10.5
II 薬剤・放射線暴露防止策の実施	89.6	3.0	2.1	5.3	I 入浴介助	84.2	0.0	5.3	10.5
II 体動、移動に注意が必要な患者への援助	90.7	3.0	1.9	4.4	★I 部分浴・陰部ケア・おむつ交換	84.2	0.0	5.3	10.5
★II 看護用品・衛生材料の整備・点検を行う	90.5	3.0	0.9	5.6	★I 寝衣交換等の衣生活支援、整容	89.5	0.0	0.0	10.5
II 創傷処置	90.8	2.8	1.6	4.8	★I 酸素吸入療法	89.5	0.0	0.0	10.5
I 採尿・尿検査の方法と検体の取扱い	92.1	2.8	0.2	4.9	★I ネブライザーの実施	84.2	0.0	5.3	10.5
II 薬剤を適切に請求・受領・保管する(含、毒薬・劇薬・麻薬)	90.1	2.8	1.4	5.6	I 体温調整	84.2	0.0	5.3	10.5
I 体温調整	92.6	2.6	0.4	4.4	II 創傷処置	84.2	0.0	5.3	10.5
★I 無菌操作の実施	91.4	2.5	1.2	4.9	★II 褥瘡の予防	84.2	0.0	5.3	10.5
I 洗浄・消毒・滅菌の適切な選択	91.2	2.5	1.4	4.9	★I 経口薬の与薬、外用薬の与薬、直腸内与薬	89.5	0.0	0.0	10.5
II 決められた業務を時間内に実施できるように調整する	90.1	2.5	1.8	5.6	I 皮下注射、筋肉内注射、皮肉注射	89.5	0.0	0.0	10.5
★I 医療倫理・看護倫理に基づき、人間の生命・尊厳を尊重し患者の人權を擁護する	90.5	2.5	1.4	5.6	★II 抗生物質の用法と副作用の観察	89.5	0.0	0.0	10.5
★II チーム医療の構成員としての役割を理解し協働する	90.3	2.5	1.4	5.8	II インシュリン製剤の種類・用法・副作用の観察	89.5	0.0	0.0	10.5
★I 施設内の医療情報に関する規定を理解する	90.5	2.3	1.2	6.0	★I 意識レベルの把握	89.5	0.0	0.0	10.5
★II 学習の成果を自らの看護実践に活用する	91.0	2.3	0.9	5.8	★I チームメンバーへの応援要請	89.5	0.0	0.0	10.5
★I 施設における医療安全管理体制について理解する	91.5	2.1	1.2	5.1	★I バイタルサイン(呼吸・脈拍・体温・血圧)の観察と解釈	89.5	0.0	0.0	10.5
★II 複数の患者の看護ケアの優先度を考えて行動する	91.0	2.1	1.2	5.6	I 身体計測	89.5	0.0	0.0	10.5
★I 職業人としての自覚を持ち、倫理に基づいて行動する	91.2	2.1	1.2	5.5	★I 静脈採血と検体の取扱い	89.5	0.0	0.0	10.5
★II 定期的な防災訓練に参加し、災害発生時(地震・火災・水害・停電等)には決められた初期行動を円滑に実施する	91.2	1.9	1.4	5.5	I 動脈採血の準備と検体の取扱い	78.9	0.0	10.5	10.5
★II 家族の意向を把握し、家族にしか担えない役割を判断し支援する	90.7	1.9	1.4	6.0	I 採尿・尿検査の方法と検体の取扱い	84.2	0.0	5.3	10.5
★I 自己評価及び他者評価をふまえた自己の学習課題を見つける	91.0	1.9	1.2	5.8	★I 血糖値測定と検体の取扱い	89.5	0.0	0.0	10.5
★II 患者の負担を考慮し、物品を適切に使用する	91.2	1.8	1.6	5.5	I 心電図モニター・12誘導心電図の装着、管理	89.5	0.0	0.0	10.5
★II 課題の解決に向けて必要な情報を収集し解決に向けて行動する	91.5	1.8	0.9	5.8	★I パルスオキシメーターによる測定	89.5	0.0	0.0	10.5
★I ネブライザーの実施	93.7	1.6	0.5	4.2	★I スタンダードプリコーション(標準予防策)実施	89.5	0.0	0.0	10.5
★I 酸素吸入療法	93.5	1.4	0.9	4.2	★I 必要な防護用具(手袋、ゴーグル、ガウン等)の選択	89.5	0.0	0.0	10.5
★I 意識レベルの把握	92.9	1.4	1.1	4.6	★I 無菌操作の実施	89.5	0.0	0.0	10.5
★I チームメンバーへの応援要請	93.3	1.4	0.5	4.8	★I 医療廃棄物規定に沿った適切な取り扱い	84.2	0.0	5.3	10.5
★I 業務上の報告・連絡・相談を適切に行う	92.6	1.4	0.5	5.5	★I 針刺し事故防止対策の実施と針刺し事故後の対応	89.5	0.0	0.0	10.5
★I 看護行為によって患者の生命を脅かす危険性もあることを認識し行動する	92.6	1.4	0.5	5.5	★I 誤薬防止の手順に沿った与薬	84.2	0.0	5.3	10.5
★I 同僚や他の医療従事者と安定した適切なコミュニケーションを取る	92.6	1.4	0.2	5.8	★I 患者誤認防止策の実施	89.5	0.0	0.0	10.5
★I 施設内の消火設備の定位置と避難ルートを把握し患者に説明する	91.7	1.2	1.6	5.5	★II 転倒転落防止策の実施	84.2	0.0	5.3	10.5
★I インシデント(ヒヤリ・ハット)事例や事故事例の報告を速やかに行う	93.3	1.2	0.4	5.1	★I インシデント(ヒヤリ・ハット)事例や事故事例の報告を速やかに行う	89.5	0.0	0.0	10.5
★II 費用対効果を考慮して衛生材料の物品を適切に選択する	91.0	1.2	2.3	5.5	★II 患者等に対し、適切な情報提供を行う	89.5	0.0	0.0	10.5

病院:教育担当者(n=567 17)

有床診療所:教育担当者(n=19 5)

	妥当性					妥当性			
	1 妥当 である	2 妥 当 で ない	3 わ か ら な い	無 回 答		1 妥 当 で ある	2 妥 当 で ない	3 わ か ら な い	無 回 答
★ I 温度、湿度、換気、採光、臭気、騒音、病室整備の療養生活環境調整	94.2	1.1	0.2	4.6	★ I プライバシーを保護して医療情報や記録物を取り扱う	89.5	0.0	0.0	10.5
★ I 医療廃棄物規定に沿った適切な取り扱い	93.8	1.1	0.2	4.9	★ II 看護記録の目的を理解し、看護記録を正確に作成する	84.2	0.0	5.3	10.5
★ II 患者等に対し、適切な情報提供を行う	92.6	1.1	0.9	5.5	★ I 業務の基準・手順に沿って実施する	89.5	0.0	0.0	10.5
★ I プライバシーを保護して医療情報や記録物を取り扱う	93.7	1.1	0.2	5.1	★ II 複数の患者の看護ケアの優先度を考えて行動する	89.5	0.0	0.0	10.5
★ II 規定に沿って適切に医療機器、器具を取り扱う	92.6	1.1	0.9	5.5	★ I 業務上の報告・連絡・相談を適切に行う	89.5	0.0	0.0	10.5
★ I 患者を一個人として尊重し、受容的・共感的態度で接する	92.9	1.1	0.5	5.5	II 決められた業務を時間内に実施できるように調整する	84.2	0.0	5.3	10.5
★ I 患者誤認防止策の実施	93.7	0.9	0.7	4.8	II 薬剤を適切に請求・受領・保管する(含、毒薬・劇薬・麻薬)	89.5	0.0	0.0	10.5
★ I 守秘義務を厳守し、プライバシーに配慮する	93.3	0.9	0.2	5.6	II 血液製剤を適切に請求・受領・保管する	84.2	0.0	5.3	10.5
★ I 歩行介助・移動の介助・移送	93.3	0.7	1.4	4.6	★ II 規定に沿って適切に医療機器、器具を取り扱う	89.5	0.0	0.0	10.5
★ I 口腔ケア	93.7	0.7	0.9	4.8	★ II 看護用品・衛生材料の整備・点検を行う	89.5	0.0	0.0	10.5
★ I スタンダードプリコーション(標準予防策)実施	94.2	0.7	0.4	4.8	★ II 患者の負担を考慮し、物品を適切に使用する	89.5	0.0	0.0	10.5
★ I 誤薬防止の手順に沿った与薬	93.8	0.7	0.4	5.1	★ II 費用対効果を考慮して衛生材料の物品を適切に選択する	84.2	0.0	5.3	10.5
★ I 看護は患者中心のサービスである事を認識し、患者・家族に接する	93.3	0.7	0.4	5.6	★ I 医療倫理・看護倫理に基づき、人間の生命・尊厳を尊重し患者の人権を擁護する	89.5	0.0	0.0	10.5
★ I 経口薬の与薬、外用薬の与薬、直腸内与薬	94.2	0.5	0.4	4.9	★ I 看護行為によって患者の生命を脅かす危険性もあることを認識し行動する	89.5	0.0	0.0	10.5
★ I 必要な防護用具(手袋、ゴーグル、ガウン等)の選択	94.2	0.5	0.5	4.8	★ I 職業人としての自覚を持ち、倫理に基づいて行動する	89.5	0.0	0.0	10.5
★ I 業務の基準・手順に沿って実施する	93.7	0.5	0.2	5.6	★ I 患者を一個人として尊重し、受容的・共感的態度で接する	89.5	0.0	0.0	10.5
★ I 自然排尿・排便援助	95.2	0.4	0.4	4.1	★ II 家族の意向を把握し、家族にしか担えない役割を判断し支援する	89.5	0.0	0.0	10.5
★ I 血糖値測定と検体の取扱い	94.5	0.4	0.2	4.9	★ I 守秘義務を厳守し、プライバシーに配慮する	89.5	0.0	0.0	10.5
★ I ベッドメイキング	95.6	0.2	0.2	4.1	★ I 看護は患者中心のサービスである事を認識し、患者・家族に接する	89.5	0.0	0.0	10.5
★ I 清拭	94.9	0.2	0.4	4.6	★ II 病院及び看護部の理念を理解し行動する	78.9	0.0	10.5	10.5
★ I バイタルサイン(呼吸・脈拍・体温・血圧)の観察と解釈	94.7	0.2	0.4	4.8	★ II 病院及び看護部の組織と機能について理解する	78.9	0.0	10.5	10.5
★ I 静脈血採血と検体の取扱い	94.7	0.2	0.4	4.8	★ II チーム医療の構成員としての役割を理解し協働する	84.2	0.0	5.3	10.5
★ I パルスオキシメーターによる測定	94.7	0.2	0.4	4.8	★ I 同僚や他の医療従事者と安定した適切なコミュニケーションを取る	84.2	0.0	5.3	10.5
★ I 部分浴・陰部ケア・おむつ交換	95.4	0.0	0.2	4.4	★ I 自己評価及び他者評価をふまえた自己の学習課題を見つける	89.5	0.0	0.0	10.5
★ I 寝衣交換等の衣生活支援、整容	95.4	0.0	0.2	4.4	★ II 課題の解決に向けて必要な情報を収集し解決に向けて行動する	84.2	0.0	5.3	10.5

	妥当性					妥当性			
	1 妥当 である	2 妥当 でない	3 わか らない	無 回答		1 妥当 である	2 妥当 でない	3 わか らない	無 回答
IV 人工呼吸器の管理	65.3	6.6	20.0	8.1	II 輸液ポンプの準備と管理	61.1	5.6	0.0	33.3
II 静脈内注射、点滴静脈内注射	83.0	5.7	2.6	8.7	II 止血	61.1	5.6	0.0	33.3
II 輸液ポンプの準備と管理	81.5	5.7	4.2	8.7	★ I 温度、湿度、換気、採光、臭気、騒音、病室整備の療養生活環境調整	72.2	5.6	5.6	16.7
★ III 気管挿管の準備と介助	71.1	5.7	13.6	9.6	★ I ベッドメイキング	72.2	5.6	5.6	16.7
II 膀胱内留置カテーテルの挿入と管理	84.5	5.1	3.8	6.6	II 創傷処置	55.6	5.6	5.6	33.3
II 輸血の準備、輸血中と輸血後の観察	76.6	4.9	9.2	9.2	★ II 経管栄養法	55.6	0.0	22.2	22.2
★ III 閉鎖式心臓マッサージ	71.5	4.9	14.3	9.2	II 膀胱内留置カテーテルの挿入と管理	72.2	0.0	5.6	22.2
II 排便	84.2	4.5	4.7	6.6	II 排便	61.1	0.0	16.7	22.2
II 中心静脈内注射の準備・介助・管理	76.4	4.3	10.0	9.2	II 関節可動域訓練・廃用性症候群予防	55.6	0.0	16.7	27.8
★ III 気道確保	77.4	4.3	9.8	8.5	II 体位ドレナージ	55.6	0.0	11.1	33.3
★ III 人工呼吸	73.0	4.2	13.6	9.2	IV 人工呼吸器の管理	55.6	0.0	11.1	33.3
II インシュリン製剤の種類・用法・副作用の観察	84.2	3.8	3.0	9.1	II 包帯法	55.6	0.0	5.6	38.9
I 心電図モニター・12誘導心電図の装着、管理	81.1	3.8	5.8	9.2	II 静脈内注射、点滴静脈内注射	66.7	0.0	0.0	33.3
★ I 患者・家族が納得できる説明を行い、同意を得る	82.3	3.8	5.1	8.9	II 中心静脈内注射の準備・介助・管理	55.6	0.0	5.6	38.9
★ II 経管栄養法	85.3	3.6	4.9	6.2	II 輸血の準備、輸血中と輸血後の観察	66.7	0.0	0.0	33.3
II 関節可動域訓練・廃用性症候群予防	74.0	3.6	14.3	8.1	II 麻薬の副作用・副作用の観察	66.7	0.0	0.0	33.3
II 食生活支援	82.8	3.6	6.4	7.2	II 薬剤等の管理(毒薬・劇薬・麻薬、血液製剤を含む)	66.7	0.0	0.0	33.3
★ II 抗生物質の用法と副作用の観察	85.5	3.6	2.1	8.9	★ III 気道確保	61.1	0.0	5.6	33.3
★ II 褥瘡の予防	84.9	3.4	3.2	8.5	★ III 人工呼吸	61.1	0.0	5.6	33.3
II リラクゼーション	74.2	3.2	12.1	10.6	★ III 閉鎖式心臓マッサージ	61.1	0.0	5.6	33.3
I 導尿	85.3	3.2	4.5	7.0	★ III 気管挿管の準備と介助	61.1	0.0	5.6	33.3
★ II 複数の患者の看護ケアの優先度を考えて行動する	85.8	3.2	1.7	9.2	II リラクゼーション	66.7	0.0	0.0	33.3
II 麻薬の副作用・副作用の観察	77.2	3.0	10.8	9.1	II 精神的安寧を保つための看護ケア	61.1	0.0	5.6	33.3
★ II 体位変換	87.9	3.0	2.3	6.8	II 薬剤・放射線暴露防止策の実施	66.7	0.0	0.0	33.3
II 決められた業務を時間内に実施できるように調整する	84.7	3.0	2.8	9.4	★ I 施設における医療安全管理体制について理解する	55.6	0.0	5.6	38.9
★ I 患者のニーズを身体・心理・社会的側面から把握する	84.0	2.8	4.7	8.5	★ I 施設内の医療情報に関する規定を理解する	66.7	0.0	0.0	33.3
II 体位ドレナージ	77.5	2.6	10.9	8.9	★ II 定期的な防災訓練に参加し、災害発生時(地震・火災・水害・停電等)には決められた初期行動を円滑に実施する	66.7	0.0	0.0	33.3
II 体動、移動に注意が必要な患者への援助	86.6	2.6	4.2	6.6	★ I 施設内の消火設備の定位置と避難ルートを把握し患者に説明する	61.1	0.0	0.0	38.9
★ II 食生活支援	86.6	2.6	2.3	8.5	II 食生活支援	72.2	0.0	11.1	16.7
★ I 自己評価及び他者評価をふまえた自己の学習課題を見つける	83.4	2.6	4.9	9.1	★ II 食事介助	61.1	0.0	16.7	22.2
II 止血	75.7	2.5	12.6	9.2	★ I 自然排尿・排便援助	72.2	0.0	5.6	22.2
II 精神的安寧を保つための看護ケア	77.5	2.5	10.4	9.6	I 浣腸	77.8	0.0	0.0	22.2
II 入眠・睡眠への援助	84.0	2.5	6.8	6.8	I 導尿	77.8	0.0	0.0	22.2
★ I チームメンバーへの応援要請	80.0	2.5	8.5	9.1	★ I 歩行介助・移動の介助・移送	72.2	0.0	0.0	27.8
II 電法等身体安楽促進ケア	84.7	2.5	4.0	8.9	★ II 体位変換	72.2	0.0	0.0	27.8
★ II 転倒転落防止策の実施	86.6	2.5	2.3	8.7	II 入眠・睡眠への援助	66.7	0.0	5.6	27.8
I 浣腸	88.1	2.3	2.8	6.8	II 体動、移動に注意が必要な患者への援助	66.7	0.0	5.6	27.8
★ I 無菌操作の実施	82.5	2.3	6.0	9.2	★ I 清拭	72.2	0.0	0.0	27.8
★ I 針刺し事故防止対策の実施と針刺し事故後の対応	81.9	2.3	7.0	8.9	I 洗髪	72.2	0.0	0.0	27.8
II 包帯法	75.3	2.1	12.6	10.0	★ I 口腔ケア	66.7	0.0	5.6	27.8
II 薬剤等の管理(毒薬・劇薬・麻薬、血液製剤を含む)	78.9	2.1	9.6	9.4	I 入浴介助	61.1	0.0	5.6	33.3
★ II 食事介助	88.5	2.1	3.8	5.7	★ I 部分浴・陰部ケア・おむつ交換	66.7	0.0	5.6	27.8
★ I 意識レベルの把握	83.8	2.1	6.0	8.1	★ I 寝衣交換等の衣生活支援、整容	66.7	0.0	5.6	27.8
I 動脈採血の準備と検体の取扱い	80.0	2.1	9.1	8.9	★ I 酸素吸入療法	72.2	0.0	0.0	27.8
★ I 施設内の医療情報に関する規定を理解する	78.9	1.9	8.9	10.4	★ I 吸引(気管内、口腔内、鼻腔内)	66.7	0.0	5.6	27.8
★ II 定期的な防災訓練に参加し、災害発生時(地震・火災・水害・停電等)には決められた初期行動を円滑に実施する	79.1	1.9	9.2	9.8	★ I ネブライザーの実施	61.1	0.0	5.6	33.3
★ I 施設内の消火設備の定位置と避難ルートを把握し患者に説明する	78.3	1.9	10.2	9.6	I 体温調整	66.7	0.0	5.6	27.8
I 皮下注射、筋肉内注射、皮肉注射	87.0	1.9	2.3	8.9	★ II 褥瘡の予防	61.1	0.0	5.6	33.3
★ I 看護行為によって患者の生命を脅かす危険性もあることを認識し行動する	85.1	1.9	4.3	8.7	★ I 経口薬の与薬、外用薬の与薬、直腸内与薬	66.7	0.0	0.0	33.3
★ II 家族の意向を把握し、家族にしか担えない役割を判断し支援する	84.0	1.9	5.5	8.7	I 皮下注射、筋肉内注射、皮肉注射	66.7	0.0	0.0	33.3
II 薬剤・放射線暴露防止策の実施	78.7	1.7	10.0	9.6	★ II 抗生物質の用法と副作用の観察	66.7	0.0	0.0	33.3
II 創傷処置	85.7	1.7	4.3	8.3	II インシュリン製剤の種類・用法・副作用の観察	55.6	0.0	5.6	38.9
★ II 看護記録の目的を理解し、看護記録を正確に作成する	86.0	1.7	3.0	9.2	★ I 意識レベルの把握	66.7	0.0	5.6	27.8
II 薬剤を適切に請求・受領・保管する(含、毒薬・劇薬・麻薬)	84.0	1.7	4.9	9.4	★ I チームメンバーへの応援要請	72.2	0.0	0.0	27.8
II 血液製剤を適切に請求・受領・保管する	80.6	1.7	8.3	9.4	★ I バイタルサイン(呼吸・脈拍・体温・血圧)の観察と解釈	72.2	0.0	0.0	27.8
★ I 職業人としての自覚を持ち、倫理に基づいて行動する	85.7	1.7	4.0	8.7	I 身体計測	72.2	0.0	0.0	27.8
★ II 病院及び看護部の理念を理解し行動する	83.8	1.7	5.5	9.1	★ I 静脈血採血と検体の取扱い	72.2	0.0	0.0	27.8
★ II 規定に沿って適切に医療機器、器具を取り扱う	84.2	1.5	4.2	10.2	I 動脈採血の準備と検体の取扱い	61.1	0.0	5.6	33.3
★ I 医療倫理・看護倫理に基づき、人間の生命・尊厳を尊重し患者の権利を擁護する	84.9	1.5	4.9	8.7	I 採尿・尿検査の方法と検体の取扱い	72.2	0.0	0.0	27.8
★ II 課題の解決に向けて必要な情報を収集し解決に向けて行動する	84.3	1.5	4.7	9.4	★ I 血糖値測定と検体の取扱い	66.7	0.0	5.6	27.8
★ II 学習の成果を自らの看護実践に活用する	84.0	1.5	5.3	9.2	I 心電図モニター・12誘導心電図の装着、管理	72.2	0.0	0.0	27.8
★ I 施設における医療安全管理体制について理解する	79.1	1.3	10.4	9.2	★ I パルスオキシメーターによる測定	72.2	0.0	0.0	27.8
★ I 温度、湿度、換気、採光、臭気、騒音、病室整備の療養生活環境調整	90.0	1.3	3.6	5.1	★ II 安楽な体位の保持	66.7	0.0	0.0	33.3
I 入浴介助	86.4	1.3	5.1	7.2	II 電法等身体安楽促進ケア	66.7	0.0	0.0	33.3
I 採尿・尿検査の方法と検体の取扱い	88.7	1.3	1.1	8.9	★ I スタンダードプリコーション(標準予防策)実施	61.1	0.0	0.0	38.9
★ II 病院及び看護部の組織と機能について理解する	84.2	1.3	6.0	8.5	★ I 必要な防護用具(手袋、ゴーグル、ガウン等)の選択	66.7	0.0	0.0	33.3
★ I 同僚や他の医療従事者と安定した適切なコミュニケーションを取る	86.8	1.3	3.2	8.7	★ I 無菌操作の実施	66.7	0.0	0.0	33.3
★ I 自然排尿・排便援助	90.2	1.1	1.9	6.8	★ I 医療廃棄物規定に沿った適切な取り扱い	66.7	0.0	0.0	33.3
I 洗髪	88.9	1.1	3.0	7.0	★ I 針刺し事故防止対策の実施と針刺し事故後の対応	66.7	0.0	0.0	33.3
★ I 酸素吸入療法	89.1	1.1	2.3	7.5	I 洗浄・消毒・滅菌の適切な選択	66.7	0.0	0.0	33.3
★ I 吸引(気管内、口腔内、鼻腔内)	88.7	1.1	3.0	7.2	★ I 誤薬防止の手順に沿った与薬	66.7	0.0	0.0	33.3
I 洗浄・消毒・滅菌の適切な選択	84.5	1.1	5.3	9.1	★ I 患者誤認防止策の実施	66.7	0.0	0.0	33.3
★ I 業務の基準・手順に沿って実施する	88.1	1.1	1.5	9.2	★ II 転倒転落防止策の実施	66.7	0.0	0.0	33.3
★ II 看護用品・衛生材料の整備・点検を行う	85.3	1.1	4.0	9.6	★ I インシデント(ヒヤリ・ハット)事例や事故事例の報告を速やかに行う	66.7	0.0	0.0	33.3
★ II 費用対効果を考慮して衛生材料の物品を適切に選択する	82.3	1.1	6.2	10.4	★ II 患者等に対し、適切な情報提供を行う	66.7	0.0	0.0	33.3
★ I 患者を一個人として尊重し、受容的・共感的態度で接する	87.4	1.1	3.0	8.5	★ I プライバシーを保護して医療情報や記録物を取り扱う	66.7	0.0	0.0	33.3
★ I ベッドメイキング	91.3	0.9	2.1	5.7	★ II 看護記録の目的を理解し、看護記録を正確に作成する	66.7	0.0	0.0	33.3
★ I ネブライザーの実施	88.5	0.9	3.4	7.2	★ I 業務の基準・手順に沿って実施する	66.7	0.0	0.0	33.3

病院:実地指導者(n=530 20)

有床診療所:実地指導者(n=18 5)

	妥当性					妥当性			
	1 妥当 である	2 妥 当 で ない	3 わ か ら ない	無 回 答		1 妥 当 で ある	2 妥 当 で ない	3 わ か ら ない	無 回 答
★ I バイタルサイン(呼吸・脈拍・体温・血圧)の観察と解釈	89.8	0.9	1.1	8.1	★ II 複数の患者の看護ケアの優先度を考えて行動する	66.7	0.0	0.0	33.3
★ I 必要な防護用具(手袋、ゴーグル、ガウン等)の選択	85.3	0.9	4.7	9.1	★ I 業務上の報告・連絡・相談を適切に行う	66.7	0.0	0.0	33.3
★ I 業務上の報告・連絡・相談を適切に行う	87.5	0.9	2.3	9.2	II 決められた業務を時間内に実施できるように調整する	66.7	0.0	0.0	33.3
★ I 看護は患者中心のサービスである事を認識し、患者・家族に接する	86.8	0.9	3.6	8.7	II 薬剤を適切に請求・受領・保管する(含、毒薬・劇薬・麻薬)	61.1	0.0	5.6	33.3
★ II チーム医療の構成員としての役割を理解し協働する	86.0	0.9	4.0	9.1	II 血液製剤を適切に請求・受領・保管する	66.7	0.0	0.0	33.3
★ I 歩行介助・移動の介助・移送	91.3	0.8	1.1	6.8	★ II 規定に沿って適切に医療機器、器具を取り扱う	66.7	0.0	0.0	33.3
★ I 口腔ケア	90.2	0.8	2.1	7.0	★ II 看護用品・衛生材料の整備・点検を行う	66.7	0.0	0.0	33.3
I 体温調整	89.8	0.8	1.7	7.7	★ II 患者の負担を考慮し、物品を適切に使用する	66.7	0.0	0.0	33.3
★ I スタンダードプリコーション(標準予防策)実施	87.0	0.8	3.2	9.1	★ II 費用対効果を考慮して衛生材料の物品を適切に選択する	66.7	0.0	0.0	33.3
★ I インシデント(ヒヤリ・ハット)事例や事故事例の報告を速やかに行う	87.0	0.8	3.0	9.2	★ I 医療倫理・看護倫理に基づき、人間の生命・尊厳を尊重し患者の人権を擁護する	61.1	0.0	0.0	38.9
★ II 患者等に対し、適切な情報提供を行う	84.9	0.8	5.1	9.2	★ I 看護行為によって患者の生命を脅かす危険性もあることを認識し行動する	61.1	0.0	0.0	38.9
★ I 血糖値測定と検体の取扱い	89.8	0.6	1.3	8.3	★ I 職業人としての自覚を持ち、倫理に基づいて行動する	66.7	0.0	0.0	33.3
★ I 医療廃棄物規定に沿った適切な取扱い	88.5	0.6	2.1	8.9	★ I 患者のニーズを身体・心理・社会的側面から把握する	66.7	0.0	0.0	33.3
★ II 患者の負担を考慮し、物品を適切に使用する	84.9	0.6	4.5	10.0	★ I 患者を一個人として尊重し、受容的・共感的態度で接する	66.7	0.0	0.0	33.3
★ I 守秘義務を厳守し、プライバシーに配慮する	88.1	0.6	2.8	8.5	★ I 患者・家族が納得できる説明を行い、同意を得る	66.7	0.0	0.0	33.3
★ I 静脈血採血と検体の取扱い	89.6	0.4	1.3	8.7	★ II 家族の意向を把握し、家族にしか担えない役割を判断し支援する	66.7	0.0	0.0	33.3
★ I 誤薬防止の手順に沿った与薬	88.1	0.4	2.6	8.9	★ I 守秘義務を厳守し、プライバシーに配慮する	66.7	0.0	0.0	33.3
★ I 患者誤認防止策の実施	88.9	0.4	2.1	8.7	★ I 看護は患者中心のサービスである事を認識し、患者・家族に接する	66.7	0.0	0.0	33.3
★ I プライバシーを保護して医療情報や記録物を取り扱う	87.5	0.4	2.8	9.2	★ II 病院及び看護部の理念を理解し行動する	66.7	0.0	0.0	33.3
★ I 清拭	91.3	0.2	1.5	7.0	★ II 病院及び看護部の組織と機能について理解する	66.7	0.0	0.0	33.3
★ I 部分浴・陰部ケア・おむつ交換	91.5	0.2	1.5	6.8	★ II チーム医療の構成員としての役割を理解し協働する	66.7	0.0	0.0	33.3
★ I 経口薬の与薬、外用薬の与薬、直腸内与薬	89.6	0.2	1.7	8.5	★ I 同僚や他の医療従事者と安定した適切なコミュニケーションを取る	66.7	0.0	0.0	33.3
I 身体計測	88.7	0.2	2.3	8.9	★ I 自己評価及び他者評価をふまえた自己の学習課題を見つける	66.7	0.0	0.0	33.3
★ I 寝衣交換等の衣生活支援、整容	91.3	0.0	1.7	7.0	★ II 課題の解決に向けて必要な情報を収集し解決に向けて行動する	66.7	0.0	0.0	33.3
★ I パルスオキシメーターによる測定	90.2	0.0	0.8	9.1	★ II 学習の成果を自らの看護実践に活用する	66.7	0.0	0.0	33.3

★1年以内に経検し修得を 目指す項目	到達の目安	99床以下 教育担当者(n=116 3)				100~199床 教育担当者(n=168 1)				200~499床 教育担当者(n=145 6)				500床以上 教育担当者(n=40 6)			
		妥当性				妥当性				妥当性				妥当性			
		1 妥当である	2 妥当でない	3 わからない	無 回答	1 妥当である	2 妥当でない	3 わからない	無 回答	1 妥当である	2 妥当でない	3 わからない	無 回答	1 妥当である	2 妥当でない	3 わからない	無 回答
★ I	看護行為によって患者の生命を脅かす危険性もあることを認識し行動する	88.8	1.7	2.6	6.9	91.1	1.8	0.0	7.1	95.9	1.4	0.0	2.8	95.0	2.5	0.0	2.5
★ I	職業人としての自覚を持ち、倫理に基づいて行動する	87.9	1.7	3.4	6.9	91.1	1.8	0.6	6.5	95.2	1.4	0.7	2.8	95.0	2.5	0.0	2.5
★ II	家族の意向を把握し、家族にしか担えない役割を判断し支援する	87.9	1.7	3.4	6.9	91.1	1.8	0.0	7.1	94.5	1.4	1.4	2.8	95.0	2.5	0.0	2.5
★ I	自己評価及び他者評価をふまえた自己の学習課題を見つける	88.8	1.7	1.7	7.8	91.1	1.8	0.0	7.1	96.6	1.4	0.0	2.1	95.0	2.5	0.0	2.5
★ I	温度、湿度、換気、採光、臭気、騒音、病室整備の療養生活環境調整	88.8	1.7	0.9	8.6	90.5	1.8	0.6	7.1	96.6	1.4	0.0	2.1	95.0	2.5	0.0	2.5
★ I	入浴介助	90.5	1.7	0.9	6.9	92.3	1.8	1.2	4.8	95.2	1.4	1.4	2.1	95.0	0.0	2.5	2.5
★ I	吸引(気管内、口腔内、鼻腔内)	90.5	1.7	0.9	6.9	91.1	1.8	0.6	6.5	96.6	1.4	0.0	2.1	97.5	0.0	0.0	2.5
★ I	スタンダードプリコーション(標準予防策)実施	89.7	1.7	0.9	7.8	91.7	1.8	1.2	5.4	96.6	1.4	0.0	2.1	95.0	0.0	2.5	2.5
★ I	医療廃棄物規定に沿った適切な取り扱い	89.7	1.7	0.9	7.8	92.3	1.8	0.6	5.4	95.9	1.4	0.7	2.1	97.5	0.0	0.0	2.5
★ I	誤薬防止の手順に沿った与薬	88.8	1.7	1.7	7.8	88.1	1.8	3.0	7.1	97.2	0.7	0.0	2.1	97.5	0.0	0.0	2.5
★ I	患者誤認防止策の実施	88.8	1.7	1.7	7.8	91.7	1.2	1.2	6.0	96.6	0.7	0.7	2.1	97.5	0.0	0.0	2.5
★ I	インシデント(ヒヤリ・ハット)事例や事故事例の報告を速やかに行う	88.8	1.7	0.9	8.6	91.7	1.2	0.6	6.5	97.2	0.7	0.0	2.1	97.5	0.0	0.0	2.5
★ II	患者等に対し、適切な情報提供を行う	87.9	1.7	1.7	8.6	89.9	1.2	2.4	6.5	97.2	0.7	0.0	2.1	97.5	0.0	0.0	2.5
★ I	プライバシーを保護して医療情報や記録物を取り扱う	88.8	1.7	0.9	8.6	91.1	1.2	0.6	7.1	96.6	0.7	0.7	2.1	97.5	0.0	0.0	2.5
★ I	業務上の報告・連絡・相談を適切に行う	88.8	1.7	0.9	8.6	91.1	1.2	0.6	7.1	94.5	0.7	2.8	2.1	97.5	0.0	0.0	2.5
★ I	チームメンバーへの応援要請	91.4	0.9	0.9	6.9	92.9	1.2	0.0	6.0	93.8	0.7	3.4	2.1	97.5	0.0	0.0	2.5
★ I	施設内の消火設備の定位置と避難ルートを把握し患者に説明する	87.1	0.9	3.4	8.6	92.9	1.2	0.0	6.0	95.9	0.7	0.7	2.8	97.5	0.0	0.0	2.5
★ I	動脈採血の準備と検体の取扱い	88.8	0.9	3.4	6.9	91.7	1.2	0.6	6.5	97.9	0.7	0.0	1.4	95.0	0.0	0.0	5.0
★ II	費用対効果を考慮して衛生材料の物品を適切に選択する	88.8	0.9	1.7	8.6	91.7	1.2	0.0	7.1	97.9	0.7	0.0	1.4	97.5	0.0	0.0	2.5
★ I	患者を一個人として尊重し、受容的・共感的態度で接する	90.5	0.9	1.7	6.9	91.7	1.2	0.0	7.1	95.2	0.7	2.1	2.1	97.5	0.0	0.0	2.5
★ I	浣腸	91.4	0.9	0.9	6.9	91.7	1.2	0.0	7.1	97.2	0.7	0.0	2.1	97.5	0.0	0.0	2.5
★ I	歩行介助・移動の介助・移送	89.7	0.9	1.7	7.8	92.3	0.6	1.2	6.0	96.6	0.7	0.7	2.1	97.5	0.0	0.0	2.5
★ I	酸素吸入療法	90.5	0.9	1.7	6.9	93.5	0.6	0.0	6.0	96.6	0.7	0.0	2.8	97.5	0.0	0.0	2.5
★ I	採尿・尿検査の方法と検体の取扱い	91.4	0.9	0.9	6.9	92.3	0.6	0.0	7.1	96.6	0.7	0.0	2.8	97.5	0.0	0.0	2.5
★ I	業務の基準・手順に沿って実施する	89.7	0.9	0.9	8.6	93.5	0.6	0.6	5.4	96.6	0.7	0.0	2.8	97.5	0.0	0.0	2.5
★ I	守秘義務を厳守し、プライバシーに配慮する	91.4	0.9	0.9	6.9	92.9	0.6	0.0	6.5	97.9	0.0	0.0	2.1	97.5	0.0	0.0	2.5
★ I	同僚や他の医療従事者と安定した適切なコミュニケーションを取る	90.5	0.9	0.9	7.8	92.9	0.6	0.0	6.5	95.9	0.0	1.4	2.8	97.5	0.0	0.0	2.5
★ I	ベッドメイキング	91.4	0.0	0.9	7.8	93.5	0.6	0.0	6.0	97.2	0.0	0.7	2.1	97.5	0.0	0.0	2.5
★ I	自然排便・排便援助	92.2	0.0	0.9	6.9	92.9	0.6	0.0	6.5	97.9	0.0	0.0	2.1	97.5	0.0	0.0	2.5
★ I	清拭	92.2	0.0	0.9	6.9	93.5	0.6	0.0	6.0	97.9	0.0	0.0	2.1	97.5	0.0	0.0	2.5
★ I	口腔ケア	92.2	0.0	0.9	6.9	92.9	0.6	0.0	6.5	97.2	0.0	0.0	2.8	97.5	0.0	0.0	2.5
★ I	部分浴・陰部ケア・おむつ交換	92.2	0.0	0.9	6.9	95.2	0.0	0.0	4.8	96.6	0.0	0.7	2.8	97.5	0.0	0.0	2.5
★ I	寝衣交換等の衣生活支援、整容	92.2	0.0	0.9	6.9	95.2	0.0	0.0	4.8	97.2	0.0	0.0	2.8	97.5	0.0	0.0	2.5
★ I	ネブライザーの実施	92.2	0.0	0.9	6.9	94.0	0.0	0.0	6.0	97.2	0.0	0.0	2.8	97.5	0.0	0.0	2.5
★ I	経口薬の与薬、外用薬の与薬、直腸内与薬	91.4	0.0	0.9	7.8	94.0	0.0	0.0	6.0	97.9	0.0	0.0	2.1	97.5	0.0	0.0	2.5
★ I	バイタルサイン(呼吸・脈拍・体温・血圧)の観察と解釈	92.2	0.0	0.9	6.9	94.0	0.0	0.0	6.0	97.9	0.0	0.0	2.1	97.5	0.0	0.0	2.5
★ I	静脈血採血と検体の取扱い	92.2	0.0	0.9	6.9	93.5	0.0	0.6	6.0	97.9	0.0	0.0	2.1	97.5	0.0	0.0	2.5
★ I	血糖値測定と検体の取扱い	92.2	0.0	0.9	6.9	93.5	0.0	0.0	6.5	97.9	0.0	0.0	2.1	97.5	0.0	0.0	2.5
★ I	パルスオキシメーターによる測定	91.4	0.0	1.7	6.9	94.0	0.0	0.0	6.0	97.9	0.0	0.0	2.1	97.5	0.0	0.0	2.5
★ I	看護は患者中心のサービスである事を認識し、患者・家族に接する	91.4	0.0	1.7	6.9	93.5	0.0	0.0	6.5	97.2	0.0	0.0	2.8	97.5	0.0	0.0	2.5

10005199床
99床以下

99床以下
教育担当者(n=116 3)

99床以下
実地指導者(n=109 4)

100~199床
教育担当者(n=168 1)

100~199床
実地指導者(n=167 3)

No.	項目	★1年以内に経験し修得を 目指す項目	到達の目安	99床以下 教育担当者(n=116 3)				99床以下 実地指導者(n=109 4)				100~199床 教育担当者(n=168 1)				100~199床 実地指導者(n=167 3)											
				1 妥当である	2 妥当でない	3 わからない	無 回答	1 妥当である	2 妥当でない	3 わからない	無 回答	1 妥当である	2 妥当でない	3 わからない	無 回答	1 妥当である	2 妥当でない	3 わからない	無 回答								
310	姿勢 組織における役割・心構えの理解と適切な行動	③	チーム医療の構成員としての役割を理解し協働する	★	II	1				87.9	2.6	1.7	7.8	79.8	0.9	8.3	11.0	洗浄・消毒・滅菌の適切な選択	87.5	3.6	2.4	6.5	85.0	1.2	6.0	7.8	
311	姿勢 組織における役割・心構えの理解と適切な行動	⑤	体動・移動に注意が必要な患者への援助		II					84.5	2.6	6.0	6.9	81.7	5.5	4.6	8.3	無菌操作の実施	90.5	3.0	0.6	6.0	80.8	1.2	9.0	9.0	
312	姿勢 組織における役割・心構えの理解と適切な行動	④	体温調整		I					89.7	2.6	0.9	6.9	88.1	0.9	0.9	10.1	患者の負担を考慮し、物品を適切に使用する	89.3	3.0	1.2	6.5	87.4	0.6	4.8	7.2	
314	姿勢 生涯にわたる主体的な自己学習の継続	②	身体計測		I					89.7	2.6	0.9	6.9	88.1	0.0	2.8	9.2	職業人としての自覚を持ち、倫理に基づいて行動する	88.7	3.0	1.2	7.1	87.4	0.6	5.4	6.6	
315	姿勢 生涯にわたる主体的な自己学習の継続	②	複数の患者の看護ケアの優先度を考えて行動する	★	II					86.2	2.6	1.7	9.5	81.7	4.6	0.9	12.8	自己評価及び他者評価をふまえた自己の学習課題を見つける	89.9	3.0	0.0	7.1	85.6	3.0	4.8	6.6	
316	姿勢 生涯にわたる主体的な自己学習の継続	⑩	薬剤等の管理(毒薬・劇薬・麻薬、血液製剤を含む)		II	1	1	1		86.2	1.7	4.3	7.8	71.6	4.6	11.0	12.8	体動・移動に注意が必要な患者への援助	90.5	3.0	0.6	6.0	90.4	1.2	4.8	3.6	
104	技術 食事援助技術	①	施設における医療安全管理体制について理解する	★	I	1	1			86.2	1.7	3.4	8.6	72.5	0.0	13.8	13.8	体温調整	91.1	3.0	0.0	6.0	92.2	1.2	1.2	5.4	
156	技術 苦痛の緩和・安楽確保の技術	①	施設内の医療情報に関する規定を理解する	★	I	1	1			87.9	1.7	0.9	9.5	76.1	0.9	9.2	13.8	創傷処置	89.9	3.0	0.6	6.5	85.6	1.2	5.4	7.8	
101	技術 環境調整技術	②	必要な防護用具(手袋、ゴーグル、ガウン等)の選択	★	I	1				88.8	1.7	1.7	7.8	79.8	1.8	6.4	11.9	複数の患者の看護ケアの優先度を考えて行動する	89.3	3.0	1.2	6.5	88.6	2.4	3.0	6.0	
102	技術 環境調整技術	③	無菌操作の実施	★	I	1				87.9	1.7	2.6	7.8	75.2	4.6	7.3	12.8	同僚や他の医療従事者と安定した適切なコミュニケーションを取る	89.9	3.0	0.0	7.1	87.4	2.4	3.6	6.6	
103	技術 食事援助技術	①	規定に沿って適切に医療機器、器具を取り扱う 医療倫理・看護倫理に基づき、人間の生命・尊厳を尊重し患者の 人権を擁護する	★	II	1				87.9	1.7	1.7	8.6	79.8	1.8	4.6	13.8	動脈採血の準備と検体の取扱い	90.5	2.4	0.6	6.5	82.0	2.4	7.8	7.8	
106	技術 排泄援助技術	①	自己評価及び他者評価をふまえた自己の学習課題を見つける	★	I	1				88.8	1.7	2.6	6.9	78.9	1.8	8.3	11.0	チームメンバーへの応援要請	91.7	1.8	0.6	6.0	78.4	4.2	9.6	7.8	
107	技術 排泄援助技術	②	動する	★	I	1				88.8	1.7	2.6	6.9	78.0	3.7	7.3	11.0	施設内の医療情報に関する規定を理解する 定期的な防災訓練に参加し、災害発生時(地震・火災・水害・停電 等)には決められた初期行動を円滑に実施する	91.1	1.8	0.0	7.1	79.6	2.4	10.8	7.2	
110	技術 排泄援助技術	③	職業人としての自覚を持ち、倫理に基づいて行動する	★	I	1				87.9	1.7	3.4	6.9	79.8	2.8	6.4	11.0	動する	91.1	1.8	0.6	6.5	82.0	3.0	8.4	6.6	
111	技術 活動・休息援助技術	④	家族の意向を把握し、家族にしか担えない役割を判断し支援する	★	II	1				87.9	1.7	3.4	6.9	78.0	1.8	8.3	11.9	家族の意向を把握し、家族にしか担えない役割を判断し支援する	91.1	1.8	0.0	7.1	86.2	1.2	6.0	6.6	
115	技術 活動・休息援助技術	①	自己評価及び他者評価をふまえた自己の学習課題を見つける	★	I	1				88.8	1.7	1.7	7.8	77.1	2.8	7.3	12.8	チーム医療の構成員としての役割を理解し協働する	90.5	1.8	0.6	7.1	86.8	2.4	3.6	7.2	
116	技術 清潔・衣生活援助技術	①	整	★	I					88.8	1.7	0.9	8.6	85.3	3.7	5.5	5.5	歩行介助・移動の介助・移送	92.3	1.8	1.2	4.8	94.0	0.6	1.2	4.2	
117	技術 清潔・衣生活援助技術	②	洗髪		I					90.5	1.7	0.9	6.9	84.4	0.9	5.5	9.2	口腔ケア	92.3	1.8	1.2	4.8	94.0	0.6	1.2	4.2	
118	技術 清潔・衣生活援助技術	④	入浴介助		I					90.5	1.7	0.9	6.9	80.7	0.9	7.3	11.0	酸素吸入療法	91.7	1.8	1.2	5.4	92.2	0.6	1.8	5.4	
119	技術 清潔・衣生活援助技術	②	吸引(気管内、口腔内、鼻腔内)	★	I					90.5	1.7	0.9	6.9	84.4	1.8	3.7	10.1	ネプライザーの実施	92.3	1.8	0.6	5.4	91.6	0.6	2.4	5.4	
120	技術 清潔・衣生活援助技術	①	スタンダードプリコーション(標準予防策)実施	★	I					89.7	1.7	0.9	7.8	80.7	1.8	4.6	12.8	決められた業務を時間内に実施できるように調整する	88.1	1.8	3.0	7.1	85.0	2.4	6.0	6.6	
121	技術 清潔・衣生活援助技術	④	医療廃棄物規定に沿った適切な取扱い	★	I					89.7	1.7	0.9	7.8	84.4	1.8	2.8	11.0	施設における医療安全管理体制について理解する	91.7	1.2	1.2	6.0	79.0	3.0	12.0	6.0	
122	技術 呼吸・循環を整える技術	①	誤薬防止の手順に沿った与薬	★	I					88.8	1.7	1.7	7.8	84.4	0.9	3.7	11.0	施設内の消火設備の位置と避難ルートを把握し患者に説明する	91.7	1.2	0.6	6.5	78.4	1.8	12.6	7.2	
123	技術 呼吸・循環を整える技術	②	患者誤認防止策の実施	★	I					88.8	1.7	1.7	7.8	85.3	0.9	2.8	11.0	費用対効果を考慮して衛生材料の物品を適切に選択する	89.9	1.2	2.4	6.5	85.6	1.2	6.6	6.6	
124	技術 呼吸・循環を整える技術	②	インシデント(ヒヤリ・ハット)事例や事故事例の報告を速やかに行う	★	I					88.8	1.7	0.9	8.6	82.6	1.8	2.8	12.8	患者を一個人として尊重し、受容的・共感的態度で接する	91.7	1.2	0.0	7.1	89.2	0.6	3.6	6.6	
125	技術 呼吸・循環を整える技術	②	患者等に対し、適切な情報提供を行う	★	II					87.9	1.7	1.7	8.6	80.7	0.9	5.5	12.8	学習の成果を自らの看護実践に活用する	91.1	1.2	0.6	7.1	85.6	1.2	6.0	7.2	
128	技術 創傷管理技術	③	プライバシーを保護して医療情報や記録物を取り扱う	★	I					88.8	1.7	0.9	8.6	83.5	0.0	2.8	13.8	スタンダードプリコーション(標準予防策)実施	92.9	1.2	0.0	6.0	86.8	0.6	4.2	8.4	
131	技術 与薬の技術	③	業務上の報告・連絡・相談を適切に行う	★	I					88.8	1.7	0.9	8.6	84.4	1.8	0.9	12.8	医療廃棄物規定に沿った適切な取扱い	92.9	1.2	0.0	6.0	88.6	0.0	3.0	8.4	
132	技術 与薬の技術	⑦	チームメンバーへの応援要請	★	I	1	1			91.4	0.9	0.9	6.9	77.1	0.9	11.0	11.0	インシデント(ヒヤリ・ハット)事例や事故事例の報告を速やかに行う	92.9	1.2	0.0	6.0	88.6	0.6	4.8	6.0	
148	技術 症状・生体機能管理技術	②	施設内の消火設備の位置と避難ルートを把握し患者に説明する	★	I	1	1			87.1	0.9	3.4	8.6	67.0	4.6	14.7	13.8	業務上の報告・連絡・相談を適切に行う	91.7	1.2	0.6	6.5	90.4	0.0	3.6	6.0	
149	技術 症状・生体機能管理技術	④	動脈採血の準備と検体の取扱い		I	1				88.8	0.9	3.4	6.9	77.1	1.8	10.1	11.0	守秘義務を厳守し、プライバシーに配慮する	91.7	1.2	0.0	7.1	89.8	1.2	2.4	6.6	
150	技術 症状・生体機能管理技術	②	費用対効果を考慮して衛生材料の物品を適切に選択する	★	II	1				88.8	0.9	1.7	8.6	74.3	0.9	10.1	14.7	看護は患者中心のサービスである事を認識し、患者・家族に接する	91.7	1.2	0.0	7.1	87.4	1.8	3.6	7.2	
152	技術 症状・生体機能管理技術	②	患者を一個人として尊重し、受容的・共感的態度で接する	★	I	1				90.5	0.9	1.7	6.9	79.8	1.8	7.3	11.0	意識レベルの把握	92.3	0.6	1.2	6.0	86.2	3.0	4.8	6.0	
153	技術 症状・生体機能管理技術	②	洗腸		I					91.4	0.9	0.9	6.9	87.2	4.6	1.8	6.4	必要な防護用具(手袋、ゴーグル、ガウン等)の選択	93.5	0.6	0.0	6.0	83.8	0.6	7.2	8.4	
155	技術 症状・生体機能管理技術	①	歩行介助・移動の介助・移送	★	I					89.7	0.9	1.7	7.8	89.0	0.9	0.9	9.2	課題の解決に向けて必要な情報を収集し解決に向けて行動する	92.3	0.6	0.0	7.1	88.0	1.2	3.6	7.2	
157	技術 苦痛の緩和・安楽確保の技術	①	酸素吸入療法	★	I					90.5	0.9	1.7	6.9	84.4	2.8	2.8	10.1	自然排尿・排便援助	93.5	0.6	0.6	5.4	92.2	0.0	3.0	4.8	
160	技術 感染予防技術	⑤	採尿・尿検査の方法と検体の取扱い		I					91.4	0.9	0.9	6.9	84.4	3.7	1.8	10.1	清拭	92.9	0.6	0.0	6.5	94.0	0.0	1.8	4.2	
163	技術 感染予防技術	①	業務の基準・手順に沿って実施する	★	I					89.7	0.9	0.9	8.6	84.4	1.8	0.9	12.8	経口薬の与薬、外用薬の与薬、直腸内与薬	92.9	0.6	0.0	6.5	89.8	0.0	2.4	7.8	
165	技術 感染予防技術	⑤	守秘義務を厳守し、プライバシーに配慮する	★	I					91.4	0.9	0.9	6.9	82.6	0.0	6.4	11.0	患者誤認防止策の実施	93.5	0.6	0.0	6.0	88.6	0.0	3.0	8.4	
166	技術 安全確保の技術	④	同僚や他の医療従事者と安定した適切なコミュニケーションを取る	★	I					90.5	0.9	0.9	7.8	83.5	0.9	4.6	11.0										

1000以下
2000以下
5000以上

	★1年以内に経験し修得を 目指す項目	到達の目安	0%以上差がある項目	99床以下 教育担当者(n=116 3)				99床以下 実地指導者(n=109 4)				100~199床 教育担当者(n=168 1)				100~199床 実地指導者(n=167 3)					
				妥当性				妥当性				妥当性				妥当性					
				1 妥当である	2 妥当でない	3 わからない	無 回答	1 妥当である	2 妥当でない	3 わからない	無 回答	1 妥当である	2 妥当でない	3 わからない	無 回答	1 妥当である	2 妥当でない	3 わからない	無 回答		
167 技術 安全確保の技術	② ベッドメイキング	★	I		91.4	0.0	0.9	7.8	89.0	3.7	1.8	5.5	患者等に対し、適切な情報提供を行う	92.9	0.6	0.0	6.5	88.0	1.2	4.2	6.6
168 技術 安全確保の技術	① 自然排尿・排便援助	★	I		92.2	0.0	0.9	6.9	87.2	3.7	1.8	7.3	ブライバシーを保護して医療情報や記録物を取り扱う	93.5	0.6	0.0	6.0	91.0	0.6	2.4	6.0
202 管理 安全管理	① 清拭	★	I		92.2	0.0	0.9	6.9	88.1	0.0	1.8	10.1	業務の基準・手順に沿って実施する	92.9	0.6	0.0	6.5	91.6	0.6	1.8	6.0
204 管理 情報管理	③ 口腔ケア	★	I		92.2	0.0	0.9	6.9	87.2	0.0	1.8	11.0	規定に沿って適切に医療機器、器具を取り扱う	92.9	0.0	0.6	6.5	86.2	1.8	4.2	7.8
205 管理 情報管理	⑤ 部分浴・陰部ケア・おむつ交換	★	I		92.2	0.0	0.9	6.9	88.1	0.0	1.8	10.1	温度、湿度、換気、採光、臭気、騒音、病室整備の療養生活環境調整	95.2	0.0	0.0	4.8	91.0	0.6	4.2	4.2
206 管理 情報管理	⑥ 寝衣交換等の衣生活支援、整容	★	I		92.2	0.0	0.9	6.9	88.1	0.0	1.8	10.1	ベッドメイキング	95.2	0.0	0.0	4.8	91.6	0.0	3.0	5.4
207 管理 業務管理	③ ネブライザーの実施	★	I		92.2	0.0	0.9	6.9	86.2	0.9	2.8	10.1	部分浴・陰部ケア・おむつ交換	94.0	0.0	0.0	6.0	94.0	0.0	1.8	4.2
208 管理 業務管理	① 経口薬の与薬、外用薬の与薬、直腸内与薬	★	I		91.4	0.0	0.9	7.8	87.2	0.0	0.9	11.9	寝衣交換等の衣生活支援、整容	94.0	0.0	0.0	6.0	93.4	0.0	2.4	4.2
209 管理 業務管理	① バイタルサイン(呼吸・脈拍・体温・血圧)の観察と解釈	★	I		92.2	0.0	0.9	6.9	87.2	1.8	1.8	9.2	バイタルサイン(呼吸・脈拍・体温・血圧)の観察と解釈	94.0	0.0	0.0	6.0	89.2	1.2	2.4	7.2
210 管理 業務管理	③ 静脈血採血と検体の取扱い	★	I		92.2	0.0	0.9	6.9	87.2	0.9	2.8	9.2	静脈血採血と検体の取扱い	93.5	0.0	0.6	6.0	89.2	0.6	1.8	8.4
308 姿勢 患者の理解と患者・家族との良好な人間関係の確立	⑥ 血糖値測定と検体の取扱い	★	I		92.2	0.0	0.9	6.9	85.3	2.8	1.8	10.1	血糖値測定と検体の取扱い	93.5	0.0	0.0	6.5	91.0	0.0	1.8	7.2
309 姿勢 患者の理解と患者・家族との良好な人間関係の確立	⑧ パルスオキシメーターによる測定	★	I		91.4	0.0	1.7	6.9	87.2	0.0	0.9	11.9	パルスオキシメーターによる測定	94.0	0.0	0.0	6.0	90.4	0.0	1.8	7.8
313 姿勢 組織における役割・心構えの理解と適切な行動	⑥ 看護は患者中心のサービスである事を認識し、患者・家族に接する	★	I		91.4	0.0	1.7	6.9	82.6	0.9	5.5	11.0	誤薬防止の手順に沿った与薬	93.5	0.0	0.0	6.5	88.0	0.0	3.6	8.4

	200~499床 教育担当者(n=145 6)				200~499床 実地指導者(n=136 6)				500床以上 教育担当者(n=40 6)				500床以上 実地指導者(n=37 6)				
	1 妥当 である	2 妥 当 で ない	3 わ か ら な い	無 回 答	1 妥 当 で ない	2 妥 当 で ない	3 わ か ら な い	無 回 答	1 妥 当 で ない	2 妥 当 で ない	3 わ か ら な い	無 回 答	1 妥 当 で ない	2 妥 当 で ない	3 わ か ら な い	無 回 答	
輸液ポンプの準備と管理	75.9	20.7	1.4	2.1	89.0	3.7	1.5	5.9	経管栄養法	70.0	27.5	0.0	2.5	91.9	0.0	8.1	0.0
経管栄養法	78.6	19.3	0.0	2.1	90.4	1.5	4.4	3.7	膀胱内留置カテーテルの挿入と管理	67.5	27.5	2.5	2.5	94.6	5.4	0.0	0.0
静脈内注射、点滴静脈内注射	76.6	18.6	2.8	2.1	85.3	6.6	2.2	5.9	輸液ポンプの準備と管理	65.0	27.5	2.5	5.0	83.8	13.5	2.7	0.0
膀胱内留置カテーテルの挿入と管理	78.6	17.2	0.7	3.4	87.5	6.6	0.7	5.1	静脈内注射、点滴静脈内注射	75.0	22.5	0.0	2.5	86.5	8.1	5.4	0.0
食事介助	81.4	16.6	0.0	2.1	94.1	0.7	2.2	2.9	抗生物質の用法と副作用の観察	75.0	20.0	2.5	2.5	91.9	8.1	0.0	0.0
体位変換	84.8	12.4	0.0	2.8	90.4	2.2	2.2	5.1	インシュリン製剤の種類・用法・副作用の観察	77.5	20.0	0.0	2.5	91.9	2.7	2.7	2.7
インシュリン製剤の種類・用法・副作用の観察	86.2	11.0	0.7	2.1	88.2	3.7	2.2	5.9	薬剤等の管理(毒薬・劇薬・麻薬、血液製剤を含む)	77.5	20.0	0.0	2.5	91.9	0.0	5.4	2.7
皮下注射、筋肉内注射、皮肉注射	86.2	11.0	0.7	2.1	92.6	1.5	0.0	5.9	中心静脈内注射の準備・介助・管理	77.5	17.5	0.0	5.0	83.8	2.7	13.5	0.0
抗生物質の用法と副作用の観察	87.6	10.3	0.0	2.1	89.7	3.7	1.5	5.1	麻薬の主作用・副作用の観察	80.0	17.5	0.0	2.5	91.9	0.0	5.4	2.7
閉鎖式心臓マッサージ	86.2	9.7	2.1	2.1	76.5	5.1	11.0	7.4	食事介助	80.0	17.5	0.0	2.5	86.5	0.0	13.5	0.0
排便	85.5	9.7	0.7	4.1	84.6	6.6	3.7	5.1	輸血の準備、輸血中と輸血後の観察	80.0	15.0	0.0	5.0	86.5	8.1	5.4	0.0
気道確保	86.9	9.7	1.4	2.1	81.6	5.9	7.4	5.1	入眠・睡眠への援助	82.5	15.0	0.0	2.5	89.2	0.0	8.1	2.7
人工呼吸器の管理	85.5	9.0	3.4	2.1	69.9	7.4	14.7	8.1	包帯法	77.5	12.5	7.5	2.5	81.1	0.0	16.2	2.7
人工呼吸	86.2	9.0	2.8	2.1	77.9	4.4	11.0	6.6	関節可動域訓練・廃用性症候群予防	82.5	12.5	2.5	2.5	70.3	5.4	21.6	2.7
中心静脈内注射の準備・介助・管理	88.3	9.0	0.7	2.1	86.8	2.2	5.1	5.9	排便	80.0	12.5	2.5	5.0	83.8	5.4	8.1	2.7
包帯法	86.2	8.3	3.4	2.1	77.2	2.2	13.2	7.4	体位変換	82.5	12.5	2.5	2.5	91.9	5.4	2.7	0.0
輸血の準備、輸血中と輸血後の観察	90.3	7.6	0.0	2.1	88.2	1.5	4.4	5.9	動脈採血の準備と検体の取扱い	85.0	12.5	0.0	2.5	83.8	0.0	13.5	2.7
心電図モニター・12誘導心電図の装着、管理	86.2	7.6	3.4	2.8	87.5	3.7	2.9	5.9	安楽な体位の保持	85.0	12.5	0.0	2.5	94.6	2.7	2.7	0.0
安楽な体位の保持	89.7	7.6	0.7	2.1	90.4	2.2	0.7	6.6	食生活支援	85.0	12.5	0.0	2.5	89.2	2.7	5.4	2.7
気管挿管の準備と介助	89.7	6.2	2.1	2.1	77.2	5.9	10.3	6.6	嚥法等身体安楽促進ケア	85.0	12.5	0.0	2.5	94.6	2.7	2.7	0.0
入眠・睡眠への援助	89.7	6.2	1.4	2.8	87.5	2.2	4.4	5.9	人工呼吸器の管理	85.0	10.0	2.5	2.5	75.7	2.7	21.6	0.0
動脈採血の準備と検体の取扱い	91.0	6.2	0.7	2.1	90.4	1.5	2.2	5.9	リラクゼーション	85.0	10.0	2.5	2.5	78.4	2.7	16.2	2.7
体位ドレナージ	90.3	5.5	2.1	2.1	81.6	2.2	8.1	8.1	患者・家族が納得できる説明を行い、同意を得る	85.0	10.0	2.5	2.5	91.9	5.4	2.7	0.0
麻薬の主作用・副作用の観察	91.7	5.5	1.4	1.4	87.5	2.2	4.4	5.9	病院及び看護部の理念を理解し行動する	85.0	10.0	2.5	2.5	91.9	2.7	5.4	0.0
患者のニーズを身体・心理・社会的側面から把握する	90.3	5.5	0.7	3.4	87.5	3.7	2.2	6.6	導尿	85.0	10.0	2.5	2.5	89.2	2.7	5.4	2.7
患者・家族が納得できる説明を行い、同意を得る	87.6	5.5	3.4	3.4	89.0	2.9	1.5	6.6	洗髪	87.5	10.0	0.0	2.5	97.3	2.7	0.0	0.0
食生活支援	87.6	5.5	3.4	3.4	85.3	5.1	4.4	5.1	閉鎖式心臓マッサージ	80.0	7.5	7.5	5.0	73.0	2.7	24.3	0.0
入浴介助	89.7	5.5	2.8	2.1	89.7	2.2	2.2	5.9	精神的安寧を保つための看護ケア	87.5	7.5	2.5	2.5	86.5	2.7	10.8	0.0
リラクゼーション	88.3	4.8	5.5	1.4	75.7	4.4	11.8	8.1	止血	90.0	7.5	0.0	2.5	75.7	0.0	21.6	2.7
洗髪	93.1	4.8	0.0	2.1	91.9	1.5	0.0	6.6	気道確保	82.5	7.5	5.0	5.0	81.1	0.0	18.9	0.0
吸引(気管内、口腔内、鼻腔内)	93.1	4.8	0.0	2.1	91.2	0.7	2.2	5.9	心電図モニター・12誘導心電図の装着、管理	87.5	7.5	2.5	2.5	78.4	10.8	8.1	2.7
薬剤等の管理(毒薬・劇薬・麻薬、血液製剤を含む)	92.4	4.1	2.1	1.4	86.8	1.5	5.1	6.6	褥瘡の予防	90.0	7.5	0.0	2.5	91.9	2.7	5.4	0.0
施設内の医療情報に関する規定を理解する	91.7	4.1	1.4	2.8	82.4	3.7	7.4	6.6	薬剤を適切に請求・受領・保管する(含、毒薬・劇薬・麻薬)	90.0	7.5	0.0	2.5	91.9	2.7	2.7	2.7
体温調整	93.1	4.1	0.7	2.1	91.2	0.7	1.5	6.6	血液製剤を適切に請求・受領・保管する	90.0	7.5	0.0	2.5	86.5	2.7	5.4	5.4
嚥法等身体安楽促進ケア	91.7	4.1	2.1	2.1	86.0	2.2	4.4	7.4	患者のニーズを身体・心理・社会的側面から把握する	90.0	7.5	0.0	2.5	91.9	5.4	2.7	0.0
転倒転落防止策の実施	93.8	4.1	0.0	2.1	88.2	3.7	1.5	6.6	病院及び看護部の組織と機能について理解する	87.5	7.5	2.5	2.5	94.6	0.0	5.4	0.0
関節可動域訓練・廃用性症候群予防	92.4	3.4	2.8	1.4	80.1	2.9	10.3	6.6	チーム医療の構成員としての役割を理解し協働する	90.0	7.5	0.0	2.5	97.3	0.0	2.7	0.0
褥瘡の予防	93.1	3.4	0.7	2.8	88.2	4.4	2.2	5.1	吸引(気管内、口腔内、鼻腔内)	90.0	7.5	0.0	2.5	100.0	0.0	0.0	0.0
導尿	92.4	3.4	0.7	3.4	88.2	3.7	4.4	3.7	皮下注射、筋肉内注射、皮肉注射	87.5	7.5	2.5	2.5	89.2	8.1	2.7	0.0
体動、移動に注意が必要な患者への援助	94.5	3.4	0.0	2.1	88.2	2.2	3.7	5.9	転倒転落防止策の実施	85.0	7.5	5.0	2.5	97.3	0.0	2.7	0.0
身体計測	92.4	3.4	1.4	2.8	90.4	0.0	3.7	5.9	看護記録の目的を理解し、看護記録を正確に作成する	87.5	7.5	2.5	2.5	94.6	0.0	2.7	2.7
看護記録の目的を理解し、看護記録を正確に作成する	94.5	3.4	0.0	2.1	83.8	4.4	4.4	7.4	複数の患者の看護ケアの優先度を考えて行動する	87.5	7.5	2.5	2.5	89.2	5.4	0.0	5.4
精神的安寧を保つための看護ケア	90.3	2.8	4.8	2.1	77.9	4.4	9.6	8.1	決められた業務を時間内に実施できるように調整する	90.0	7.5	0.0	2.5	91.9	2.7	2.7	2.7
針刺し事故防止対策の実施と針刺し事故後の対応	94.5	2.8	0.7	2.1	84.6	2.2	5.9	7.4	人工呼吸	82.5	5.0	7.5	5.0	78.4	2.7	18.9	0.0
家族の意向を把握し、家族にしか担えない役割を判断し支援する	92.4	2.8	0.7	4.1	89.0	2.9	1.5	6.6	気管挿管の準備と介助	82.5	5.0	7.5	5.0	73.0	8.1	16.2	2.7
病院及び看護部の組織と機能について理解する	94.5	2.8	0.0	2.8	89.0	1.5	2.9	6.6	薬剤・放射線暴露防止策の実施	87.5	5.0	5.0	2.5	94.6	0.0	5.4	0.0
学習の成果を自らの看護実践に活用する	93.8	2.8	0.7	2.8	90.4	1.5	2.2	5.9	施設における医療安全管理体制について理解する	92.5	5.0	0.0	2.5	81.1	0.0	13.5	5.4
浣腸	94.5	2.8	0.0	2.8	89.7	2.9	2.2	5.1	看護用品・衛生材料の整備・点検を行う	92.5	5.0	0.0	2.5	86.5	0.0	8.1	5.4
採尿・尿検査の方法と検体の取扱い	94.5	2.8	0.0	2.8	93.4	0.7	0.0	5.9	浣腸	92.5	5.0	0.0	2.5	94.6	0.0	5.4	0.0
施設における医療安全管理体制について理解する	95.2	2.1	0.7	2.1	86.0	1.5	6.6	5.9	体動、移動に注意が必要な患者への援助	92.5	5.0	0.0	2.5	94.6	0.0	2.7	2.7

	200~499床 教育担当者(n=145 6)				200~499床 実地指導者(n=136 6)					500床以上 教育担当者(n=40 6)				500床以上 実地指導者(n=37 6)			
	妥当性				妥当性					妥当性				妥当性			
	1 妥当 である	2 妥 当 で ない	3 わ か ら ない	無 回 答	1 妥 当 で ある	2 妥 当 で ない	3 わ か ら ない	無 回 答		1 妥 当 で ある	2 妥 当 で ない	3 わ か ら ない	無 回 答	1 妥 当 で ある	2 妥 当 で ない	3 わ か ら ない	無 回 答
病院及び看護部の理念を理解し行動する	94.5	2.1	0.7	2.8	87.5	0.7	3.7	8.1	身体計測	92.5	5.0	0.0	2.5	97.3	0.0	0.0	2.7
自己評価及び他者評価をふまえた自己の学習課題を見つける	94.5	2.1	0.7	2.8	88.2	2.2	3.7	5.9	体位ドレナージ	95.0	2.5	0.0	2.5	83.8	2.7	13.5	0.0
整	95.2	2.1	0.0	2.8	94.9	1.5	1.5	2.2	チームメンバーへの応援要請	92.5	2.5	2.5	2.5	83.8	0.0	13.5	2.7
創傷処置	94.5	2.1	0.7	2.8	91.9	1.5	1.5	5.1	施設内の消火設備の定位置と避難ルート把握し患者に説明する	95.0	2.5	0.0	2.5	94.6	2.7	0.0	2.7
止血	92.4	1.4	3.4	2.8	80.9	2.9	10.3	5.9	意識レベルの把握	92.5	2.5	2.5	2.5	83.8	2.7	13.5	0.0
薬剤・放射線暴露防止策の実施	95.2	1.4	0.7	2.8	80.9	1.5	10.3	7.4	無菌操作の実施	92.5	2.5	2.5	2.5	97.3	0.0	2.7	0.0
意識レベルの把握	95.9	1.4	0.7	2.1	89.0	0.7	5.1	5.1	定期的な防災訓練に参加し、災害発生時(地震・火災・水害・停電等)には決められた初期行動を円滑に実施する	95.0	2.5	0.0	2.5	91.9	0.0	5.4	2.7
無菌操作の実施	96.6	1.4	0.0	2.1	90.4	2.2	0.7	6.6	規定に沿って適切に医療機器、器具を取り扱う	95.0	2.5	0.0	2.5	86.5	0.0	10.8	2.7
血液製剤を適切に請求・受領・保管する	96.6	1.4	0.0	2.1	88.2	2.2	2.2	7.4	費用対効果を考慮して衛生材料の物品を適切に選択する	95.0	2.5	0.0	2.5	81.1	0.0	10.8	8.1
定期的な防災訓練に参加し、災害発生時(地震・火災・水害・停電等)には決められた初期行動を円滑に実施する	95.2	1.4	1.4	2.1	83.1	0.7	10.3	5.9	医療倫理・看護倫理に基づき、人間の生命・尊厳を尊重し患者の人權を擁護する	92.5	2.5	2.5	2.5	91.9	2.7	5.4	0.0
医療倫理・看護倫理に基づき、人間の生命・尊厳を尊重し患者の人權を擁護する	93.1	1.4	2.1	3.4	89.7	2.2	1.5	6.6	職業人としての自覚を持ち、倫理に基づいて行動する	92.5	2.5	2.5	2.5	91.9	5.4	2.7	0.0
看護行為によって患者の生命を脅かす危険性もあることを認識し行動する	95.9	1.4	0.0	2.8	89.7	2.2	0.7	7.4	家族の意向を把握し、家族にしか担えない役割を判断し支援する	92.5	2.5	0.0	5.0	94.6	2.7	2.7	0.0
職業人としての自覚を持ち、倫理に基づいて行動する	95.9	1.4	0.0	2.8	89.7	1.5	1.5	7.4	課題の解決に向けて必要な情報を収集し解決に向けて行動する	95.0	2.5	0.0	2.5	89.2	2.7	8.1	0.0
患者を一個人として尊重し、受容的・共感的態度で接する	95.2	1.4	0.7	2.8	91.2	1.5	0.7	6.6	学習の成果を自らの看護実践に活用する	95.0	2.5	0.0	2.5	89.2	2.7	8.1	0.0
チーム医療の構成員としての役割を理解し協働する	94.5	1.4	1.4	2.8	89.7	0.0	2.2	8.1	入浴介助	95.0	2.5	0.0	2.5	89.2	2.7	8.1	0.0
酸素吸入療法	96.6	1.4	0.0	2.1	91.2	0.7	1.5	6.6	経口薬の与薬、外用薬の与薬、直腸内与薬	95.0	2.5	0.0	2.5	97.3	0.0	2.7	0.0
ネブライザーの実施	96.6	1.4	0.0	2.1	93.4	0.7	0.7	5.1	インシデント(ヒヤリ・ハット)事例や事故事例の報告を速やかに行う	95.0	2.5	0.0	2.5	91.9	0.0	5.4	2.7
患者等に対し、適切な情報提供を行う	95.2	1.4	1.4	2.1	86.0	0.7	6.6	6.6	針刺し事故防止対策の実施と針刺し事故後の対応	95.0	0.0	2.5	2.5	97.3	0.0	2.7	0.0
プライバシーを保護して医療情報や記録物を取り扱う	96.6	1.4	0.0	2.1	89.7	0.7	2.9	6.6	施設内の医療情報に関する規定を理解する	97.5	0.0	0.0	2.5	89.2	0.0	8.1	2.7
業務上の報告・連絡・相談を適切に行う	96.6	1.4	0.0	2.1	91.9	0.0	1.5	6.6	必要な防護用具(手袋、ゴーグル、ガウン等)の選択	95.0	0.0	2.5	2.5	97.3	0.0	2.7	0.0
決められた業務を時間内に実施できるように調整する	95.9	1.4	0.7	2.1	87.5	4.4	0.7	7.4	患者の負担を考慮し、物品を適切に使用する	97.5	0.0	0.0	2.5	89.2	0.0	2.7	8.1
チームメンバーへの応援要請	97.2	0.7	0.0	2.1	85.3	2.9	5.9	5.9	動する	97.5	0.0	0.0	2.5	94.6	2.7	2.7	0.0
施設内の消火設備の定位置と避難ルート把握し患者に説明する	96.6	0.7	0.7	2.1	84.6	0.7	8.8	5.9	患者を一個人として尊重し、受容的・共感的態度で接する	97.5	0.0	0.0	2.5	97.3	2.7	0.0	0.0
薬剤を適切に請求・受領・保管する(含、毒薬・劇薬・麻薬)	97.2	0.7	0.0	2.1	90.4	1.5	0.7	7.4	自己評価及び他者評価をふまえた自己の学習課題を見つける	97.5	0.0	0.0	2.5	91.9	2.7	5.4	0.0
規定に沿って適切に医療機器、器具を取り扱う	97.2	0.7	0.0	2.1	88.2	2.2	2.2	7.4	整	97.5	0.0	0.0	2.5	94.6	0.0	2.7	2.7
看護用品・衛生材料の整備・点検を行う	96.6	0.7	0.7	2.1	90.4	1.5	2.2	5.9	ベッドメイキング	97.5	0.0	0.0	2.5	100.0	0.0	0.0	0.0
患者の負担を考慮し、物品を適切に使用する	94.5	0.7	2.8	2.1	90.4	0.7	2.2	6.6	自然排尿・排便援助	97.5	0.0	0.0	2.5	100.0	0.0	0.0	0.0
費用対効果を考慮して衛生材料の物品を適切に選択する	93.8	0.7	3.4	2.1	88.2	2.2	2.9	6.6	歩行介助・移動の介助・移送	97.5	0.0	0.0	2.5	100.0	0.0	0.0	0.0
課題の解決に向けて必要な情報を収集し解決に向けて行動する	95.9	0.7	0.7	2.8	89.7	1.5	2.2	6.6	清拭	97.5	0.0	0.0	2.5	100.0	0.0	0.0	0.0
ベッドメイキング	97.9	0.7	0.0	1.4	94.9	0.7	0.7	3.7	口腔ケア	95.0	0.0	0.0	5.0	97.3	2.7	0.0	0.0
自然排尿・排便援助	97.9	0.7	0.0	1.4	93.4	1.5	0.7	4.4	部分浴・陰部ケア・おむつ交換	97.5	0.0	0.0	2.5	100.0	0.0	0.0	0.0
口腔ケア	95.2	0.7	2.1	2.1	91.9	2.2	0.7	5.1	寝衣交換等の衣生活支援、整容	97.5	0.0	0.0	2.5	100.0	0.0	0.0	0.0
洗浄・消毒・滅菌の適切な選択	97.2	0.7	0.0	2.1	84.6	2.2	5.9	7.4	酸素吸入療法	97.5	0.0	0.0	2.5	100.0	0.0	0.0	0.0
インシデント(ヒヤリ・ハット)事例や事故事例の報告を速やかに行う	96.6	0.7	0.7	2.1	90.4	0.7	1.5	7.4	ネブライザーの実施	97.5	0.0	0.0	2.5	91.9	2.7	5.4	0.0
業務の基準・手順に沿って実施する	96.6	0.7	0.0	2.8	89.7	1.5	2.2	6.6	体温調整	97.5	0.0	0.0	2.5	100.0	0.0	0.0	0.0
守秘義務を厳守し、プライバシーに配慮する	96.6	0.7	0.0	2.8	91.9	0.7	0.7	6.6	創傷処置	97.5	0.0	0.0	2.5	91.9	0.0	8.1	0.0
看護は患者中心のサービスである事を認識し、患者・家族に接する	96.6	0.7	0.0	2.8	89.7	0.7	2.9	6.6	バイタルサイン(呼吸・脈拍・体温・血圧)の観察と解釈	97.5	0.0	0.0	2.5	97.3	0.0	0.0	2.7
必要な防護用具(手袋、ゴーグル、ガウン等)の選択	97.9	0.0	0.0	2.1	90.4	1.5	0.7	7.4	静脈血採血と検体の取扱い	97.5	0.0	0.0	2.5	94.6	0.0	2.7	2.7
歩行介助・移動の介助・移送	95.9	0.0	1.4	2.8	92.6	0.7	1.5	5.1	採尿・尿検査の方法と検体の取扱い	97.5	0.0	0.0	2.5	94.6	0.0	2.7	2.7
清拭	97.2	0.0	0.7	2.1	94.1	0.7	0.0	5.1	血糖値測定と検体の取扱い	97.5	0.0	0.0	2.5	97.3	0.0	0.0	2.7

	200~499床 教育担当者(n=145 6)				200~499床 実地指導者(n=136 6)				500床以上 教育担当者(n=40 6)				500床以上 実地指導者(n=37 6)				
	妥当性				妥当性				妥当性				妥当性				
	1 妥当 である	2 妥 当 で ない	3 わ か ら ない	無 回 答	1 妥 当 で ある	2 妥 当 で ない	3 わ か ら ない	無 回 答	1 妥 当 で ある	2 妥 当 で ない	3 わ か ら ない	無 回 答	1 妥 当 で ある	2 妥 当 で ない	3 わ か ら ない	無 回 答	
部分浴・陰部ケア・おむつ交換	97.9	0.0	0.0	2.1	93.4	0.7	0.7	5.1	パルスオキシメーターによる測定	97.5	0.0	0.0	2.5	94.6	0.0	0.0	5.4
寝衣交換等の衣生活支援、整容	97.9	0.0	0.0	2.1	93.4	0.0	0.7	5.9	スタンダードプリコーション(標準予防策)実施	95.0	0.0	2.5	2.5	97.3	0.0	2.7	0.0
経口薬の与薬、外用薬の与薬、直腸内与薬	97.2	0.0	0.0	2.8	93.4	0.7	0.7	5.1	医療廃棄物規定に沿った適切な取り扱い	97.5	0.0	0.0	2.5	100.0	0.0	0.0	0.0
バイタルサイン(呼吸・脈拍・体温・血圧)の観察と解釈	96.6	0.0	0.7	2.8	94.1	0.7	0.0	5.1	洗浄・消毒・滅菌の適切な選択	95.0	0.0	2.5	2.5	100.0	0.0	0.0	0.0
静脈血採血と検体の取扱い	97.2	0.0	0.0	2.8	94.9	0.0	0.0	5.1	誤薬防止の手順に沿った与薬	97.5	0.0	0.0	2.5	100.0	0.0	0.0	0.0
血糖値測定と検体の取扱い	97.2	0.0	0.0	2.8	94.9	0.0	0.0	5.1	患者誤認防止策の実施	97.5	0.0	0.0	2.5	100.0	0.0	0.0	0.0
パルスオキシメーターによる測定	97.2	0.0	0.0	2.8	94.9	0.0	0.0	5.1	患者等に対し、適切な情報提供を行う	97.5	0.0	0.0	2.5	91.9	0.0	5.4	2.7
スタンダードプリコーション(標準予防策)実施	97.9	0.0	0.0	2.1	92.6	0.7	0.0	6.6	プライバシーを保護して医療情報や記録物を取り扱う	97.5	0.0	0.0	2.5	94.6	0.0	2.7	2.7
医療廃棄物規定に沿った適切な取り扱い	97.9	0.0	0.0	2.1	91.9	0.7	0.0	7.4	業務の基準・手順に沿って実施する	97.5	0.0	0.0	2.5	94.6	0.0	0.0	5.4
誤薬防止の手順に沿った与薬	97.9	0.0	0.0	2.1	91.9	0.7	0.7	6.6	業務上の報告・連絡・相談を適切に行う	97.5	0.0	0.0	2.5	86.5	5.4	2.7	5.4
患者誤認防止策の実施	97.9	0.0	0.0	2.1	92.6	0.7	0.0	6.6	守秘義務を厳守し、プライバシーに配慮する	97.5	0.0	0.0	2.5	100.0	0.0	0.0	0.0
複数の患者の看護ケアの優先度を考えて行動する	97.9	0.0	0.0	2.1	89.0	2.9	1.5	6.6	看護は患者中心のサービスである事を認識し、患者・家族に接する	97.5	0.0	0.0	2.5	94.6	0.0	5.4	0.0
同僚や他の医療従事者と安定した適切なコミュニケーションを取る	97.2	0.0	0.0	2.8	90.4	1.5	1.5	6.6	同僚や他の医療従事者と安定した適切なコミュニケーションを取る	97.5	0.0	0.0	2.5	97.3	0.0	2.7	0.0



